

事業概要：あおもり脱炭素チャレンジプロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	381,431千円 (82,982千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 再生可能エネルギー関連産業への県内事業者の参入や県外のグリーン関連企業の立地促進、グリーン関連分野における新ビジネスの創出を進めることで、県内外の企業を県内の再エネ産業・半導体を始めとしたグリーン関連産業に取り込み、県内での産業振興と新たな雇用に繋げる。 - また、SDGsの視点を持ち環境配慮行動を実践しながら経済活動や消費行動を行う環境人材・事業者を増やすことで、脱炭素社会実現に貢献する事業者や人材を育成する。 - これらの取組により、産業振興・雇用創出・地域活性化・環境人材の育成・環境負荷低減・脱炭素化を推進することで、本県が働く場所・生活する場所・投資する場所として選ばれることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 再生可能エネルギーを活用した地域の産業振興に向けて、地域エネルギー事業の普及推進や再生可能エネルギー利活用高度化モデルの構築、風力発電関連産業を担う人材育成に取り組む。併せて、グリーン関連産業やGX関連産業の誘致促進や核融合産業拠点形成推進による産業創出、脱炭素社会の実現に向けた県民・事業者等の意識改革等にも取り組む。					 (高校生を対象とした現場体験研修)	
	【R8年度事業 経費内訳】 - 風力発電を始めとするエネルギー関連産業への県内事業者参入促進・人材育成（委託料等）11,045千円 - G X 関連企業誘致促進（委託料等） 45,591千円 - フュージョンエネルギー関連産業拠点形成推進による産業創出（委託料等）16,413千円 - 県民・事業者等の気運醸成（委託料等）1,465千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 風力発電関連産業に参入している県内事業者数（+6社） ② 電子部品・デバイス・電子回路製造業、生産用機械器具製造業、ソフトウェア業の企業誘致件数（+7件） ③ アップサイクルに関する新ビジネス創出数（+7件） ④ 県内事業者省エネ診断受診件数（+25件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu kin.html

事業概要：生業に裏打ちされた持続可能な中山間地域スマート農業構築プロジェクト

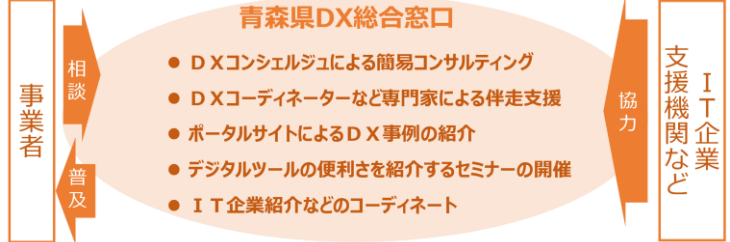
継続

申請者	青森県					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	186,690千円 (29,096千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中山間地域へのスマート農業の導入やあおもり米の高付加価値化を実現し、中山間地域を始めとする米農家の所得向上と農家経営の安定化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内の中山間地域のスマート農業に適した基盤整備の検討や効果検証の実施、中山間地域に適した情報通信環境の整備支援に取り組む。また、農家の生業を支える「あおもり米」の生産技術の向上や需要獲得や認知度向上のためのPR活動や提案活動を実施する。					 (はれわたりを栽培する田んぼの様子)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「はれわたり」生産技術の向上に向けた研修会、指導拠点の設置、生産指導プロジェクトチームによる技術普及、良食味・高品質生産に向けた指導力の向上と生産者の意識啓発（委託料、交付金等）5,336千円 ・WebやSNS等を通じたあおもり米の情報発信等（委託料等）22,742千円 ・あおもり米の認知度向上に向けた認知度調査（委託料）1,018千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 農家1戸当たりの農業産出額（+500万円） ② 中山間地域においてスマート農業の実装を可能とする基盤整備を行う地区数の割合（+50%） ③ 「はれわたり」の作付面積（+8,000ha） ④ あおもり米の認知度向上（+34%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos-hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu-kin.html

事業概要：誰ひとり取り残さないDX推進体制構築プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	485,848千円 (92,013千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「暮らし・まち」、「産業」、「行政」におけるDXを推進し、県民誰もが便利で快適に暮らすことのできる青森県を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内企業のDX戦略の策定に向けた総合相談窓口による支援や県内IT企業のDX支援力の強化に向けた支援人材の育成、県内産業のDXをけん引するロールモデル創出のための補助事業の実施に取り組む。また、青森型プラットフォーム「青森びいき」のシステム運用や同システムを活用したファン起点のテストマーケティングを実施する。					事業者 相談 普及 青森県DX総合窓口 ● DXコンシェルジュによる簡易コンサルティング ● DXコーディネーターなど専門家による伴走支援 ● ポータルサイトによるDX事例の紹介 ● デジタルツールの便利さを紹介するセミナーの開催 ● IT企業紹介などのコーディネート 協力 支援機関など IT企業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「DX認定」等企業のDX戦略の策定に向けた総合相談窓口による支援（委託料等）27,157千円 ・県内産業のDXを牽引するロールモデル創出（補助金等）8,159千円 ・県内の就業者向けの実践的なDX人材育成育成研修の実施（委託料等）5,365千円 ・圏内産業のDXを牽引するロールモデル創出や次号者向けセミナー等（補助金等）13,133千円 ・青森型プラットフォーム「青森びいき」のシステム運用（委託料等）10,842千円 ・「青森びいき」を活用したファン起点のマーケティング（委託料）8,162千円 ・青森びいきのプロモーションやデータ分析等（委託料）19,195千円						
主なKPI	① 就業者1人当たり県内総生産（労働生産性）全国との差を縮小 ※2018年度 180万円（▲30万円） ② DX戦略の策定支援件数（+60件） ③ ICTサポーターの育成数（+60人） ④ 暮らし・まち分野のDXモデル実装市町村数（+9団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu/kin.html



（上：DX相談窓口支援内容、下：デジタル体験創造フェア）

事業概要：世界を見据えた戦略的な農林水産業推進プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	278,841千円 (71,718千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・農林水産業における外貨の獲得と生産性・付加価値の向上による農林水産業従事者の所得向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 グローバルマーケットシェアの獲得に向けて、海外対象国に応じたパートナーとの取組を強化し、販路開拓・拡大を図る。 本県農業をけん引するリーダー育成のため、経営力強化を図る研修を実施するほか、若手農業者や農業を学ぶ学生を対象とした海外研修を実施する。 その他、農業DXの推進や効率的な物流体制の構築にも取り組む。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・パートナーとの連携による販路開拓・拡大等（委託料等）19,048千円 ・ハラル等国際認証の取得促進（委託料等）3,962千円 ・若手農業者や農業を学ぶ高校生、大学生等による提案型海外研修の実施等（委託料等）20,592千円 ・農業DXの実証等（事務費等）8,056千円 ・県産農林水産物の物流改善に向けた機器・システムの導入等の取組支援（補助金等）10,040千円 ・施設等の整備・改修の取組支援（補助金等）10,020千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+70.74万円） ②農林水産品輸出額（+15億円） ③新たに物流改善に取り組む農協や卸業者等の荷主業者（+18者）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		
			
		（県内学生によるオランダでの海外研修の様子）	
		https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html	

事業概要：青森独自のディープな体験を磨くインバウンド観光消費拡大プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	307,722千円 (105,363千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・本県独自の文化や風土の中で、新たな観光付加価値を獲得していく余地のあると見込まれる、陸奥湾や海峡を活用した船旅コンテンツ、独自の農業生活体験、独自のアート作品等の新たな観光付加価値の獲得・向上に向け取り組むとともに、欧米富裕層をメインターゲットとするプロモーションとインバウンド向け商品づくりを強化していくことで、新たなインバウンドを獲得の素地を確立し、満足度と観光消費額を向上させ、県内経済の活性化につなげていくことを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 欧米及び豪州を中心に、各国の状況に合わせた情報発信や商品造成に取り組むほか、クルーズ船の寄港促進に向けたセールス活動に取り組む。また、航路や農泊、アートコレクションといった本県ならではのコンテンツを生かした誘客促進やインバウンド向けの土産品の商品開発にも取り組む。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・米西海岸地区等への集中的な情報発信、プロモーション強化（委託料等）19,226千円 ・クルーズ船の寄港促進に向けたセールス等の展開や受入れ体制の強化（委託料等）49,012千円 ・航路を活用した津軽海峡交流圏の周遊コンテンツの強化や農泊の国内外プロモーション（委託料等）20,039千円 ・インバウンド向け土産品等の開発支援やテストマーケティングの実施（委託料等）17,086千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+292億円） ②外国人延べ宿泊者数（+233,535人泊） ③本事業による海外OTAサイト掲載商品数（+60件） ④むつ湾フェリー及び大函丸延べ旅客乗員数（+31,256人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

（青森港に寄港したクルーズ船の歓迎）

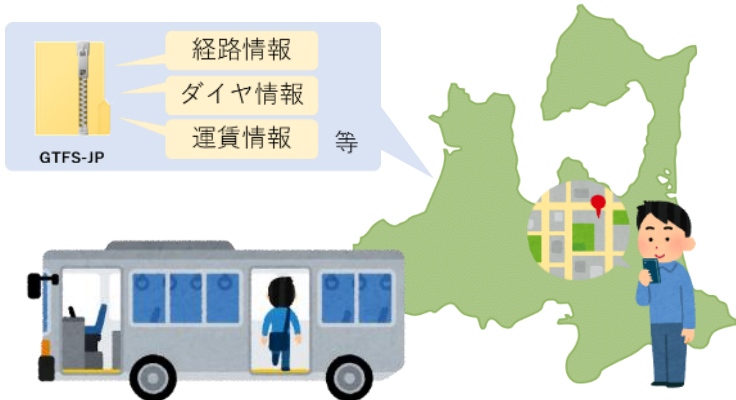
事業概要：あおもり産業イノベーション推進プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	320,290千円 (115,844千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本県の基幹産業である農林水産分野と、先般、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」(J-PEAKS事業)に採択された弘前大学や弘前市等と多面的な取組を進めている健康分野など、イノベーションの推進によって強みや特徴のある分野を軸とした産業振興を行うとともに、それらの基礎となる新技術の研究開発等に向けた体制を整備し、本県経済全体の活性化へと波及させていく仕組みを構築することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農林水産業分野においては、一次産業の付加価値向上及び生產品のブランド化を推進するとともに、産業集積に向けた事業再構築支援（県内企業の農業関連産業への参入支援）に取り組む。 健康分野においては、弘前大学の各種事業や取組と連携し、Well-being領域での地域資源活用ビジネスの育成に向けたマッチングや実証事業に取り組む。 併せて、上記の取組の基盤となるオープン・イノベーションの創出に向けたネットワークづくりやマッチングにも取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・参入可能性のある県内企業へのハンズオン支援（委託料等）11,767千円 ・食品加工事業者の商品開発力の強化をはじめとした農産物の加工体制強化（委託料等）29,260千円 ・県内外スタートアップ等との実証（委託料等）24,954千円 ・最終製品のブランディングによる高付加価値化（委託料等）13,114千円 ・Well-being領域への新規参入促進（委託料等）13,621千円 ・Well-being領域での地域資源活用ビジネスの創出支援（委託料等）6,813千円 ・県内企業と課題解決を行う県外スタートアップ等とのマッチングをはじめとしたオープン・イノベーション創出事業（委託料等）16,315千円					 イノベーションの推進による持続的な一次産業への 構造転換と社会保障等の課題解決	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 今後3年間で飲食加工業含む県内製造業の付加価値額（+184億円） ② ヘルスケア関連分野における新規取組事例数（+45件） ③ 県内企業と県外スタートアップ等との共同実証モデル数（+9件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu/kin.html

事業概要：地域交通ネットワーク再構築プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	174,901千円 (50,042千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域公共交通の維持に向けて、DXやライドシェア等による地域公共交通の利便性の向上や交通事業者の経営見直し・改善、人材確保等に取り組むなど、交通事業者の運営基盤の強化を図り、県民が住み慣れた地域で安心して移動・外出できる広域的な地域公共交通ネットワークの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市町村や交通事業者等との連携・役割分担の下、地域ごとに適切な移動手段を確保するとともに、サービス水準の向上を図るための会議や伴走支援、実証支援に取り組む。また、地域公共交通の運営基盤強化に向けて、旅行者をターゲットとしたローカル鉄道の新規需要の創出や交通事業者の採用活動や労働環境の改善の取組を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域公共交通の推進に向けた関係者会議の開催（委託料等）5,763千円 ・市町村や交通事業者等に対する伴走支援（委託料等）7,812千円 ・複数の交通手段や他分野との連携によるMaaS実証（委託料等）9,000千円 ・交通空白地におけるライドシェア実証（委託料）10,000千円 ・ローカル鉄道の新規旅客需要の創出（委託料）4,717千円 ・交通事業者による採用活動と労働環境改善対策の促進（補助金）12,750千円						
主なKPI	① 18歳から39歳までの県外への転出者に対する転入者の割合（+0.1） ② 地域公共交通の年間利用者数（+506千人） ③ 路線バス（地域間幹線系統）の収支率（+179.3%） ④ 県内民営鉄道2社と青い森鉄道の定期外の旅客運輸収入（+48百万円） ⑤ 県内広域路線バス5事業者の乗合バス運転士充足率（+13%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu kin.html

事業概要：連携・協働による所得向上・労働力確保推進プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	173,723千円 (51,764千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市町村、金融機関、大学等の各主体と連携・協働しながら、県民の所得向上や労働力確保に向けた対策に取り組むことで、外国人材を始めとした多様な人材による労働力が確保され、県内事業者の経営が安定することで、県民の所得向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「県民の所得向上」をメインテーマとして、知事と各主体等による現状・課題の議論を配信し、各主体・県民の意識醸成と主体的な取組の促進を図るほか、先進地調査や企業、県民向けのアンケート調査を実施する。 また、外国人材の確保に向けて、外国人受入相談窓口を設置し、県内企業の個別相談に対応するほか、市町村等における外国人受入環境整備を支援する。併せて、農業分野の労働力確保に向けて、雇用就農の促進に向けたマッチングの促進や魅力発信に取り組む。					 青森県知事 宮下宗一郎 × 青森県内産業界のキーパーソン (所得向上ラウンドテーブル2025)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「所得向上ラウンドテーブル2026」の開催・配信等（委託料等）4,491千円 ・県内事業者向け外国人受入相談窓口の設置（委託料等）14,830千円 ・市町村における外国人受入環境整備の支援や海外ターゲット国交渉・調整（補助金等）10,502千円 ・市町村や金融機関との連携（需用費）200千円 ・大学と連携した留学生と県内企業との交流会の実施（委託料）1,296千円 ・県内企業等との連携によるスポットワークの推進（委託料等）2,597千円 ・雇用就農の確保に向けたトライアル就農によるマッチングの実施等（委託料等）17,848千円						
主なKPI	① 労働力率（15歳以上の労働力人口／15歳以上人口）の維持（±0%） ② 外国人労働者数（+2639人） ③ 副業を認めている県内企業の割合（+17.60%） ④ 本事業等を通じた農業労働力マッチング数（+96人）					URL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu/kin.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：水産業の構造改革プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	243,560千円 (87,514千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ホタテガイやサーモンなどの「つくり育てる漁業」や地域資源と既存の漁港施設等を最大限に活用した海業が県内に浸透することにより、県内の主要魚種の安定生産と水産業の成長産業化が進み、水産資源の持続的利用と漁業者の所得向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 陸奥湾ホタテガイの効率的な採苗に向けた技術開発や高水温に対応した養殖技術の開発、養殖作業の効率化に向けた協業の推進など、生産高度化、経営力強化を図る。 また、サーモン海面養殖の拡大に向けた効率的な養殖手法の確立や安価かつ安定供給可能な資料の開発、プレーヤーづくりを推進する。 その他の海藻類や魚種についても、増殖や種苗生産の技術確立に取り組み、「つくり育てる漁業」を推進する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・効率的な採苗に向けた技術開発（交付金）7,054千円 ・高水温に対応した養殖技術・品種の開発（交付金）6,217千円 ・陸奥湾ホタテガイの生産体制の見直し等（委託料等）14,269千円 ・飼料環境変動に係る調査・分析・試験（交付金等）20,920千円 ・サーモン海面養殖のプレーヤーの参入促進等（委託料等）12,851千円 ・海藻類の増殖実証や魚類の種苗生産技術の開発・改良（委託料、交付金等）23,177千円 ・漁業関係者による挑戦的な取組への支援（補助金等）3,026千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 海面漁業の漁獲量（+14,000トン） ② 陸奥湾ホタテガイ生産額100億円の維持（±0億円） ③ 海面養殖サーモン用種苗生産施設数（+2箇所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu/kin.html

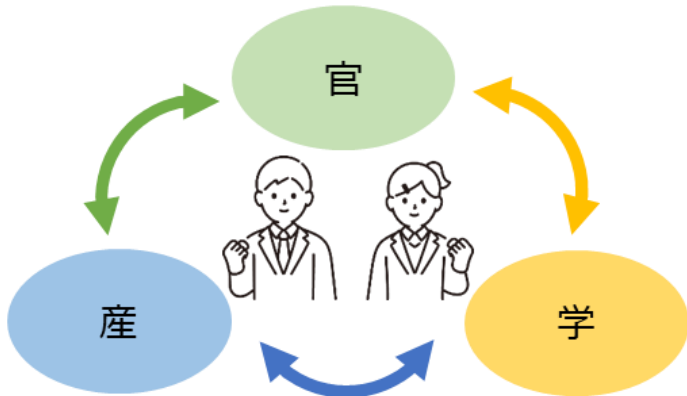
事業概要：次世代へつなぐ！文化継承・魅力発信プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	143,260千円 (47,015千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光コンテンツでもある本県の特徴ある文化等の次世代への着実な継承に向けて、その価値や魅力に対する理解・活用の促進に取り組み、多くの県民が郷土への誇りを持ちながら、文化を通して心の充実や生きがいを感じられる地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 無形民俗文化財の継承につなげるための新たな取組として、モデル団体への調査、動画撮影、音声収録による記録作成を行い、継承に繋げるツールを制作するほか、一般県民への情報発信を強化し、担い手の確保につなげる。 「あおり縄文ステーションじょもじょも」をフックとした縄文遺跡群の情報発信と各遺跡群への来訪者の確保に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・無形民俗文化財の記録作成（委託料等）5,257千円 ・あおり民族芸能活性化大会の開催とテレビ等での情報発信（委託料）28,160千円 ・「あおり縄文ステーションじょもじょも」の来場促進企画の実施（プロモーション、ワークショップ・講演等）（委託料等）11,155千円 ・4者連携イベントの連動企画の実施（委託料等）648千円 ・青森駅や東京駅等の構内における交通広告（役務費）1,795千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における観光消費額（+90億円） ② 無形民俗文化財の民族芸能に係る保存団体のうち活動中の団体数（+15団体） ③ 「あおり縄文ステーションじょもじょも」来訪者数（+10,000人） ④ 三内丸山遺跡センター来館者数（+90千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu.kin.html

事業概要：産学官連携による若者・女性を惹きつける青森推進プロジェクト

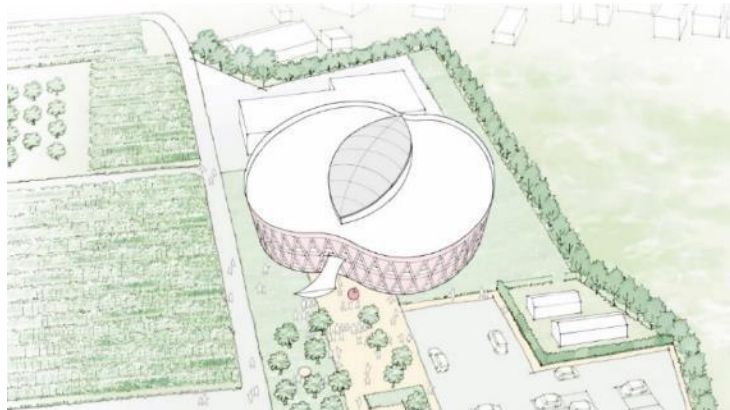
継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	366,911千円 (134,251千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「あおり人材育成・県内定着促進協議会」を中心とする体制で、若者に県内就職や県内企業の魅力を伝え、県内で働くことをポジティブな選択肢とすることで、若者の県内定着の促進を目指す。 - 都内にあおり移住サポート店を設置し、首都圏で暮らす本県出身者への移住に関する情報発信や交流の拠点とすることで、15歳～49歳の人口の純移動率の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「あおり人材育成・県内定着促進協議会」の開催や工業部会の設置による専攻別の取組、高校生、学生、若年女性の県内定着に向けたイベントや情報発信、企業PR等を実施する。加えて、若者の採用を促進するため、県内企業の採用広報強化や職場環境向上にも取り組む。 また、若者のUIターン促進のため、あおり移住サポート店の設置や首都圏デジタル人材との交流会等を開催する。					あおり人材育成・県内定着促進協議会 	
	【R8年度事業 経費内訳】 - 高校生向けキャリア支援イベント等の開催、魅力PRツールの制作・プロモーション等（委託料等）45,416千円 - 学生向けの仕事と生活の魅力の情報発信等（委託料等）28,026千円 - 女子学生と若手女性社員との交流会等の開催や促進協議会の運営（委託料等）15,185千円 - 県内企業の採用広報の強化に向けたセミナーやコンテストの開催（委託料等）14,682千円 - 職場環境の向上に向けたアドバイザー派遣、オフィス環境改革支援（委託料、補助金等）15,286千円 - あおり移住サポート店の認定・連携等（委託料等）15,656千円						
主なKPI	① 18歳から39歳までの県外への転出者に対する転入者の割合（+0.09） ② 県内高等学校等卒業就職者の県内就職率（+3%） ③ 県内大学等卒業者のうち、就職希望者の県内就職内定率（+3%） ④ 移住・交流ポータルサイト「あおり暮らし」PV数（+8,157件） ⑤ あおり移住サポート店数（+40店）					URL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：青森りんご新時代創造プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,179,955千円 (1,791,587千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・国内唯一のりんご中心の研究機関である県産業技術センターりんご研究所の機能強化や、りんごの生産基盤強化及び市場拡大のための対策に取り組み、「青森ブランド」のトップランナーであるりんごの生産量を現状と同等の44万トンの維持を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 りんご研究所の機能を強化し、オープンラボや人工気象室、遺伝子解析室、人工環境制御室等の設備を有した施設を新設する。 また、りんごの生産基盤強化等に向けて、高密度植栽培専用苗木の生産体制強化や新規就農者の定着支援、スマート農業技術等の実証、新品種の早期開発に取り組む。加えて、台湾向け輸出入りんごのリスク低減対策として、選果技術の実用化や台湾行政機関へのトップセールス等に取り組む。					 (りんご研究所整備イメージ)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・衛星データ活用による生産面積調査（委託料）14,000千円 ・新品種の早期開発・導入（交付金） 9,200千円 ・高密度植専用苗木の増産支援等（補助金等） 8,450千円 ・省力・軽労機械のモデル実証（交付金） 3,000千円 ・地元企業のりんご生産への参入支援（補助金） 4,800千円 ・輸出入リスク低減に向けた選果技術の実用化にかかる事業（委託料等）2,530千円 ○拠点整備事業 ・県産業技術センターりんご研究所の機能強化（新設）1,749,607千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における農林水産出荷額（+80万円） ② りんご生産量44万トンの維持（±0万トン） ③ 高密度植栽培面積（+86ha） ④ 国産りんごの輸出額（年産）（+14億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu/kin.html

事業概要：魅力ある青森のながいも産地づくり推進プロジェクト

継続

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	256,667千円 (237,893千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「ながいも産地日本一」を基本理念に、安全・安心で食味が良く、粘りのあるながいもを生産し、出荷量を確保していくことにより、消費者の期待に応えることができる産地を目指す。また、生産者、関係者が一体となって、「生産力の向上」、「担い手の確保・育成」及び「流通・販売力の強化」という産地の課題解決に継続して取り組んでいくことで、生産者の所得の安定化を図り、将来にわたって安心してながいもをつくり続けることができる魅力あるながいもの産地づくりを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・優良種苗の生産に向けて、県産業技術センター野菜研究所にながいも種苗専用の冷蔵施設を新設するとともに、本県産ながいもの生産力向上、担い手の確保・育成、流通・販売力の強化に係る対策に取り組み、将来にわたり、安心してながいもをつくり続けることができる魅力ある産地の実現を目指す。					【むかご方式】  ▶▶▶ 【切りいも方式】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「むかご方式」から「切りいも方式」への転換による種苗増殖方法の実証、指導者・生産者向け研修会の開催（委託料等）3,429千円 ・新品種「夢雪」の高品質多収栽培技術の確立（交付金等）3,058千円 ・新たな機能性成分の探索に係る研究等（委託料等）2,401千円 ○拠点整備事業 ・野菜研究所にながいも冷蔵施設を整備（新設）229,005千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における農林水産出荷額（+60万円） ② ながいも優良種苗（成いも）供給量（+1,200kg） ③ ながいもの単収（+890kg/10a） ④ ながいものAB品率（+7.2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu/kin.html

事業概要：アートとプロスポーツによる
県民ウェルビーイング向上と地域活性化プロジェクト

新規

申請者	青森県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	203,725千円 (73,341千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・文化芸術とスポーツは、人々の創造性や豊かな人間性を育むとともに、人との心のつながりを強め、心豊かで多様性と活力のある社会を形成する源泉となるものである。近年、観光・まちづくり・その他の分野との連携の下、様々な価値を生み出しており、今後も、経済活動の源泉として、デジタル化等の技術革新を取り入れながら、新たな価値や収益を生み、それが本質的価値の向上のために再投資されるといった好循環を通じて、地域の持続的な発展に寄与し続けていくことが期待されている。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・サブスクを活用し、県民のスポーツ観戦や文化芸術体験機会を増加させるとともに、アートやスポーツの楽しみ方に関する情報発信、こどもたちを対象とした地元プロスポーツの観戦機会や県内のアーティストとの交流を通したアート体験の機会を拡大する。 ・Jリーグクラブキャンプ誘致の実現に向けて、サッカー場へのグラウンドキーパーの配置や、Jリーグ水準を満たす芝生管理技術の習得等に取り組み、受入基盤の強化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・文化芸術とプロスポーツ体験による地域活性化事業（需用費、役務費、委託料） 49,562千円 ・Jリーグキャンプ誘致受入基盤強化事業（委託料） 23,779千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①文化芸術を直接鑑賞したことがある人の割合（+34.1%） ②文化芸術活動の実践・参加経験がある人の割合（+11.2%） ③県内プロスポーツの入場者数（青森ワッツ）（+1,226人） ④県内プロスポーツの入場者数（ヴァンラーレ八戸）（+1,626人） ⑤Jリーグキャンプ誘致数（+3チーム）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

事業概要：県内企業のGX関連産業参入推進プロジェクト

新規

申請者	青森県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	75,834千円 (25,278千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・青森県では、GXの推進により、産業振興と雇用拡大を目指す「GX青森」の取組を進めている。令和7年10月には経済産業省に対して「GX戦略地域」に関する提案を行っており、「青森GX特別区域」を創設し、GX青森による県内産業の構造転換の加速化に向けて、データセンター（DC）の誘致やGX・DX関連企業の誘致、GX産業団地の整備、DCの活用によるスマート化の推進、脱炭素電力の地産地消、電力インフラの整備、フュージョンエネルギー拠点形成推進等に取り組むこととしている。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県では再生可能エネルギーの供給地としてGX関連産業立地のポテンシャルを有していることから、県内中小企業にGX関連産業への参入を促すため、経営面・技術面双方から助言を行う「GX推進アドバイザー」を設置するとともに、県内中小企業及び大学・研究機関等有するニーズ・シーズをつなぐ場として「GXビジネスネットワーク」の形成等に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・グリーン成長戦略関連産業参入研究会（委託料等）693千円 ・GX推進アドバイザーの設置（委託料等）21,291千円 ・分野別研究会の開催（委託料等）3,294千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 1社あたり付加価値額（+2.21億円） ② 参入研修会・分野別研究会への参加者数（+150者） ③ GXビジネスネットワーク会員数（+60者） ④ GX関連産業に参入した県内企業数（+2社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

事業概要：「食の宝庫あおもり」販路開拓・認知度向上推進プロジェクト

新規

申請者	青森県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	345,405千円 (115,135千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農林水産業は青森県の基幹産業であり、県基本計画「青森新時代」への架け橋やあおもり創生総合戦略においても持続可能な農林水産業の実現を政策の柱の一つに位置付けている。令和8年度に策定することとされている「地域産業成長プラン」においても、本県の農林水産業の持続的な成長に向けて、販路開拓の強化や情報発信などの支援策を地場産業支援に盛り込むことを検討している。県産品の販路が全国に拡大し、「食の宝庫あおもり」の認知度が高まることで、県産品の販売力が強化され、国内有数の食料供給地として存在感を一層高め、多くの外貨を獲得するとともに、生産者等は豊かさを実感し、農林水産業が本県の強みとして地域経済の発展に寄与し続けている社会を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 首都圏等における新たな販路開拓に向けて、食品商社が開催する展示商談会への県ブースの出展や飲食チェーン等の新たなパートナー企業との青森県フェアの実施、メディア・ミックスによる情報発信に取り組む。また、県産品の認知度向上に向けては、トップシェフと連携したメニュー開発・提供やシェフと生産者との交流機会の創出、これらの取組を通じたメディアによる通年での情報発信等に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・食品商社と連携した新たなマッチング機会の創出（委託料）26,550千円 ・新たなパートナー企業の開拓による販路拡大（委託料等）6,390千円 ・メディア・ミックスによる情報発信（委託料等）50,407千円 ・トップシェフへの多彩な県産食材の年間を通じた提案によるブランド力強化（委託料等）14,078千円 ・上記取組の通年での情報発信の実施（委託料）7,590千円 ・「食の宝庫あおもり」プロモーション動画の制作と活用（委託料）10,120千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 1経営体当たりの生産農業所得（+137万円） ② 本事業による産地と実需者とのマッチング件数（新規取引商品数）（+135件） ③ 県産品平均（37品目）の認知度（+11%） ④ 高級食材専門ECサイトを通じた県産食材の販売額（+30%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

事業概要：猛暑に打ち勝つ水稻栽培緊急対策プロジェクト

新規

申請者	青森県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	91,031千円 (73,317千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・農林水産業は青森県の基幹産業であり、県基本計画「青森新時代」への架け橋やおおもり創生総合戦略においても持続可能な農林水産業の実現を政策の柱の一つに位置付けている。令和8年度に策定することとされている「地域産業成長プラン」においても、本県の農林水産業の持続的な成長に向けて、販路開拓の強化や情報発信などの支援策を地場産業支援に盛り込むことを検討している。 ・高温年における県産米の一等米比率の向上のため、地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所を中心に、「水稻高温対策技術の早期確立」と「高温耐性を有する新品種の開発強化」の2本柱の施策が関係者一丸となって展開されることで、本県が「青森新時代『農林水産力』強化パッケージ」にて掲げる豊かさを実感できる力強い農林水産業の強化につながり、農林水産業が持続的に発展する社会を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県稲作において、夏季の高温対策が喫緊の課題であるため、地域に適した技術対策を強化し、温暖化の更なる進行に備え、農家とタッグを組み、これまでの常識を打ち破る高温対策に挑戦する。同時に、革新的な高温対策技術の確立や、高温に強い品種を早期育成するための高温耐性検定施設を整備することで、育成の早い段階で、耐冷性や耐病性に加え、高温耐性のある有望系統を確実に選抜することが可能となり、新品種が早期に育成されことや、夜間の気温制御による確実な高温耐性品種の選抜が可能となることで従来の10倍の選抜効率で高温耐性品種の早期育成を実現する。					  【気温制御設備】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域に適した高温対策の強化（委託料等）3,163千円 ・革新的な高温対策技術の早期確立（交付金）5,694千円 ○拠点整備事業 ・県産業技術センター農林総合研究所 水稻高温耐性検定施設整備（新設）64,460千円						
主なKPI	①地域における農林水産出荷額（+1,200億円） ②高温時の県産米の一等米比率（+21%） ③県産米の単収（+18kg）					URL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：世界自然遺産白神山地の保全活用プロジェクト

新規

申請者	青森県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	312,013千円 (194,824千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本事業は、白神山地を通じた自然学習や交流のための拠点の機能強化を図る取組であり、白神山地の活用促進や魅力発信に寄与することから、白神山地を訪れる国内外を通じた観光客の増加により、本県への投資を呼び込むことが期待できる。 ・令和8年度に各都道府県が策定することとされている「地域産業成長プラン」においても、白神山地などの本県の強みを生かしたコンテンツ整備などの取組を地場産業支援に盛り込むことを検討している。 ・世界自然遺産・白神山地の価値や魅力に、県民をはじめとする国内外の多くの方が触れ、理解し、体感することにより、その自然的・文化的な価値等を次世代に継承していくための拠点施設を目指す。更なる情報発信と環境教育の推進、価値を伝える担い手の育成等を展開し、より多くの観光入込客数の獲得を図る（令和10年までにコロナ禍前の約30万人を目標）。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在、白神山地の登山・散策道やアクセス道が通行不能で、遺産地域周辺へのアクセスが困難な状況となっていることから、屋外展示解説等の環境学習や各種イベント実施等を通して白神山地を体感してもらうため、白神山地ビジターセンターの屋外展示を回遊するウォークデッキを改修し、機能を強化する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・白神山地ビジターセンターウォークデッキ改修工事 194,824千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①白神山地（青森県側）における観光消費額（+44.5億円） ②白神山地（青森県側）における観光入込客数（+168,000人） ③白神山地ビジターセンターにおけるイベント（自然体験事業等）参加者数（+2,575人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

事業概要：金融機関と連携した成長志向企業の支援プロジェクト

新規

申請者	青森県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	334,010千円 (111,508千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中核的企業の成長に向けた潜在ニーズへの働きかけ強化や金融機関、コンサル等民間との連携強化による企業成長の後押しを行い、企業成長の促進と労働生産性の向上を図るとともに、本県での中核的企業の規模拡大・賃上げの推進、新たな雇用創出を促進する取組等を実施するものであり、地場産業の付加価値向上などに寄与するもの。 ・県と金融機関の連携により企業成長支援の新たな仕組みを構築し、成長を志向する中核的企業の規模拡大と賃上げに向けた取組を加速させる。また、本県の経済成長と社会課題の解決を加速させるため、スタートアップの成長に向けた全国的なネットワークとの連携、実証支援、資金調達支援、人材育成を総合的に推進し、挑戦と実証が循環するエコシステムの形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 金融機関との連携による成長戦略（経営計画）策定を通じたチーム支援、M&A実態調査や、全国のスタートアップが県内で実証を行う際の伴走支援やPR支援等を実施し、企業成長の促進と労働生産性の向上を図るとともに、スタートアップの創出から実証、成長までを継続的に支援する体制を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・金融機関連携型100億企業創出促進事業（補助金等）20,880千円 ・青森M&A新時代創出促進事業（委託料等）3,498千円 ・あおりスタートアップ・アクセラレーション事業（委託料等）86,098千円 ・青森県企業・団体等パネル調査の整備・実施事業（委託料等）1,032千円						
主なKPI	① 県内100億宣言企業数（+39社） ② 金融機関連携成長戦略策定企業数（+60社） ③ J-StartupTOHOKU選定企業数（+4社）					URL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：青森県観光チャレンジ促進プロジェクト

新規

申請者	青森県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	193,179千円 (64,393千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・本県の観光での強みを生かし、地域ならではの価値を創出し、国内外に誇れる魅力を備えた「世界の中の青森」となること。観光コンテンツを生かし、本県観光産業を国内外から投資する価値があるものと評価される産業として成長させていくことで、本県が世界とつながり、世界から選ばれ、観光産業が基幹産業として地域経済を力強くけん引している状態「訪れる人」「働く人」「地域の人」が幸せを感じる地域を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光産業の基盤強化や地域づくりに向けたチャレンジへの支援、宿泊事業者の収益力向上及び冬季観光振興に向けた調査等、特に観光需要が落ち込む時期の誘客促進対策などを実施し、観光産業新規参入者や既存事業者の支援、誘客対策等を行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光産業の基盤強化や地域づくりに向けたチャレンジへの支援（観光産業チャレンジサポート補助費用等）26,847千円 ・宿泊事業者の収益力向上及び冬季観光振興に向けた調査等（委託料等）9,030千円 ・閑散期でも特に観光需要が落ち込む時期の誘客促進対策（委託料等）25,420千円 ・企業向け冬季旅行対策（消耗品費等）3,096千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における観光消費額（+90億円） ② 閑散期（12～3月）の国内延べ宿泊者数（+322,500人泊数） ③ 新たに観光産業の基盤強化や地域づくりに取り組む事業者数（+36者）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

事業概要：青森県美スマートミュージアム化推進プロジェクト

新規

申請者	青森県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	104,047千円 (46,787千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本県の観光産業は、幅広い分野にまたがり裾野が広く、地域経済の持続可能な成長や雇用の創出にも非常に重要な役割を果たしている。 ・本県観光の中核施設であり、コロナ禍以降、入館者が好調に推移している青森県立美術館において、入館者の多様なニーズに対応をする取組として、青森県立美術館の「スマートミュージアム化」の実現に向けて、館内業務のD X 導入やこどもやファミリー層に向けた施設整備等により、こどもから大人まで楽しむことができる美術館を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 総合案内、エレベーター前、各展示室など、案内業務が発生する場面において、ロボット・アバター等を導入するほか、チケット販売機及び電子チケットの導入、こども・家族層向け施設改修、所蔵している作品へのアクセシビリティ向上を実施し、利便性の向上による国内・海外からの入館者数増加を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・案内ロボット導入に向けた調査・実証試験（委託料）33,330千円 ・スマートミュージアム構想検討委員会の実施（報償費等）1,558千円 ・チケット販売機及び電子チケットの導入（委託料等）4,949千円 ・収蔵品データベースの整備（委託料）1,950千円 ○拠点整備事業 ・こども・家族層向け施設改修工事設計（委託料） 5,000千円（キッズルーム等改修）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域における観光消費額（+210億円） ② コレクション展入館者数（+50,538人） ③ スタッフ対応の満足度（+0.90点） ④ 施設満足度（+0.93点） ⑤ 外国人入館者数（+6,000人） ⑥ こどもの入館者数（+3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html

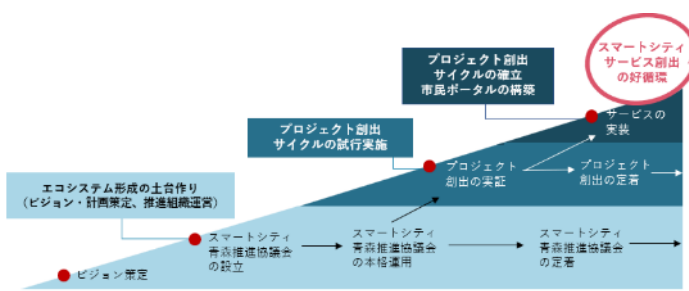
事業概要：コワーキング・交流室付きワーケーション体験施設を活用した移住促進事業

旧制度（推進）

申請者	青森県青森市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,406千円 (4,209千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本市における人口の社会減を始めとした諸課題に対応するため、本市浪岡地区が有する「津軽の交通結節点/活用可能な住居（空き家）が多い/生活利便性が高い」といった「地の利」を生かし、同地区に空き家リノベーションによる体験施設を整備し、「実生活がイメージできる生活体験」と「地域の多世代との交流」を生かした「地域一体での受入体制による交流体験」等を通じ、関係人口の増加を契機とした更なる移住・定住の促進を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市街地にある空き家を借上げリノベーションした、複数組を受入可能な体験及び交流の場である施設の維持管理及び運営を行い、子育て世代等をメインターゲットに移住及びワーケーション体験モニター事業を実施し、地区内での買い物などの生活体験、子育て世代・地域住民との交流体験を行う。また、フリーランスの方をメインターゲットに、リモートワーク体験×余暇体験及び地域住民との交流体験を実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・体験施設の管理運営 1,669千円 ・移住体験モニター事業の実施 240千円 ・ワーケーション体験モニター事業の実施 2,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+34人） ②移住体験・ワーケーション体験参加者数（+314人） ③体験以外の施設利用者数（+88人） ④本市空き家バンクの登録数（+15件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.aomori.aomori.jp/kurashi_kankyo/sumai/1002204/1002211/1002218.html

事業概要：青森市スマートシティ推進事業

継続

申請者	青森県青森市					初回採択回	令和7年度第1回募集																								
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	109,280千円 (25,000千円)																								
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業																										
目的・効果	・ デジタル技術を活用したまちづくり（スマートシティ）を推進することで、人口減少下でも地域の持続可能性を高めることができる。 ・ 地域のスマートシティ推進体制、サービス基盤、実装サイクルを構築することで、継続的にデジタルサービスが創出されるとともに、市民サービスの向上や地域課題の解決に繋がる。 ・ 市民生活にデジタルサービスが定着することで、本市の構造的な課題であるデジタル化の遅れの解消に繋がる。																														
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域のスマートシティ推進組織を組成し、地域課題を解決するためのスマートシティサービスが継続的に創出される仕組みを構築する。また、市民に簡単かつ効率的にサービスを提供する基盤として、市民ポータルアプリを実装し、住民一人ひとりのニーズに応じた情報やサービスを分野横断的に提供できる仕組みを整備する。これにより、地域全体の利便性の向上と持続可能なまちづくりを実現することを目指すものである。																														
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スマートシティ推進組織運営事業 (運営費、人材育成費、外部人材招聘経費等) 16,000千円 スマートシティ青森推進協議会において、ワーキンググループの運営や地域人材の育成、広報活動、機運醸成等を実施する。 ・スマートシティプロジェクト創出事業（委託料等）9,000千円 スマートシティ青森推進協議会の会員企業等と連携し、民間主体の共助型サービスや準公共的なプロジェクトを実施することで、継続的にサービスを創出する仕組みを実証する。					<table><tr><th></th><th>2024年度</th><th>2025年度</th><th>2026年度</th><th>2027年度</th></tr><tr><td>計画策定</td><td>ビジョン策定</td><td>進捗管理</td><td>進捗管理</td><td>進捗管理</td></tr><tr><td>事業推進主体の 組成</td><td>—</td><td>スマートシティ推進組織の構築 (スマートシティ青森推進協議会の設立)</td><td>スマートシティ推進組織の本格運用 ・ ワーキンググループの運営 ・ 地域人材の育成 ・ 広報・機運醸成等</td><td>スマートシティ推進組織の定着 ・ ワーキンググループの運営 ・ 地域人材の育成 ・ 広報・機運醸成等</td></tr><tr><td>プロジェクト 創出</td><td>—</td><td>—</td><td>スマートシティプロジェクト創出 の試行実施</td><td>スマートシティプロジェクト創出 の定着</td></tr><tr><td>サービスの 実装</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>スマートシティサービスの実装 サービス基盤の構築</td></tr></table>			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	計画策定	ビジョン策定	進捗管理	進捗管理	進捗管理	事業推進主体の 組成	—	スマートシティ推進組織の構築 (スマートシティ青森推進協議会の設立)	スマートシティ推進組織の本格運用 ・ ワーキンググループの運営 ・ 地域人材の育成 ・ 広報・機運醸成等	スマートシティ推進組織の定着 ・ ワーキンググループの運営 ・ 地域人材の育成 ・ 広報・機運醸成等	プロジェクト 創出	—	—	スマートシティプロジェクト創出 の試行実施	スマートシティプロジェクト創出 の定着	サービスの 実装	—	—	—
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度																											
計画策定	ビジョン策定	進捗管理	進捗管理	進捗管理																											
事業推進主体の 組成	—	スマートシティ推進組織の構築 (スマートシティ青森推進協議会の設立)	スマートシティ推進組織の本格運用 ・ ワーキンググループの運営 ・ 地域人材の育成 ・ 広報・機運醸成等	スマートシティ推進組織の定着 ・ ワーキンググループの運営 ・ 地域人材の育成 ・ 広報・機運醸成等																											
プロジェクト 創出	—	—	スマートシティプロジェクト創出 の試行実施	スマートシティプロジェクト創出 の定着																											
サービスの 実装	—	—	—	スマートシティサービスの実装 サービス基盤の構築																											
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域のデジタル生活の定着度（+3.0） ②スマートシティ推進組織の会員数（+15者） ③スマートシティサービスの実証・実装件数（+6件） ④本事業により創出したサービスの利用者数（+1000人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.aomori.aomori.jp/shisei/machizukuri/1007473/index.html																								

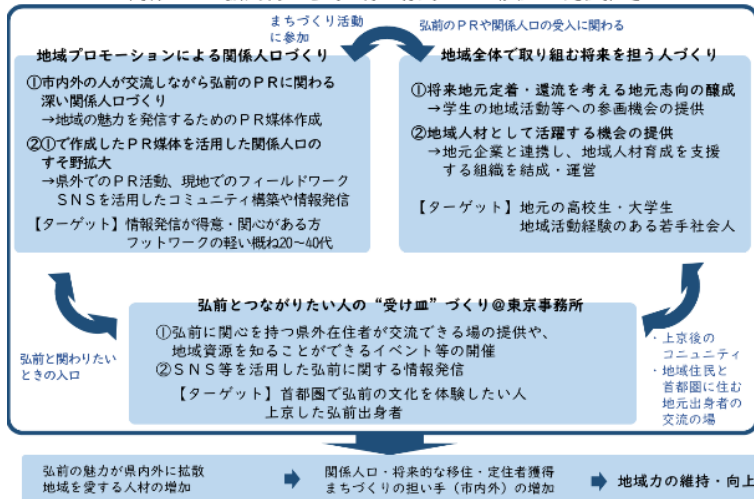
事業概要：棟方志功記念館を中心とした「学び」と「実践」の場の創生事業

新規

申請者	青森県青森市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	730,268千円 (67,255千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・リノベーションした棟方志功記念館（民間美術館）を活用し、本市が世界に誇る文化芸術の象徴である版画家「棟方志功」の顕彰を軸に、子どもを中心とした市民・観光客が地域に根差した文化芸術を学ぶことにより、文化芸術・観光振興を図り、市民が誇りを持てるまちを創出する。 ・生涯学習等を目的に市民などが集う施設周辺の特徴を活かし、志功をきっかけとして市民と観光客が活動・交流する場を確保することによる独自視点からの地域活性化を図る。 ・志功を介して生まれる交流人口や関係人口を巻き込んだ地域ねぶたなどの地域の活動から、地域におけるまちづくり人材の育成を進め、市民の主体的な参画による地域運営につなげ、持続的な地域活動のモデル地区として、市内の他地区への波及を目指す。 ・当該事業は、文化芸術振興と観光の高付加価値化を図る取組であり、地域未来戦略の推進を踏まえ、国民の暮らしと安全を守ることに資する取り組み（地場産業支援関連事業）に資する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 棟方志功記念館をリノベーション（機能強化）し、志功の顕彰を軸に関連ワークショップを実施するなど、地域に根差した版画文化をはじめとした文化芸術を学び活動するための拠点とするほか、志功や郷土の魅力を市民が再認識し、誇りに思うきっかけ作りとして、市民参加による「棟方志功ゆかりの地マップ」等の開発・発信を行う。また、志功ゆかりの庭園を活用し、地域イベント等を行い、市民と観光客の交流促進を図ることで、志功をきっかけとした関係人口の創出を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタルコンテンツの作成（委託料） 20,460千円 ・棟方志功ゆかりの地マップ作成等（委託料） 1,862千円 ○拠点整備事業 ・建物リノベーションにかかる設計等（委託料） 44,933千円						
主なKPI	①観光消費額（＋2.4億円） ②松原地区の社会教育施設等利用者の延べ人数（＋40,000人） ③施設のワークショップ参加者数（＋1,152人） ④文化観光を理由に市に誇りや愛着を感じる市民の割合（＋21％） ⑤文化振興などを使途としたふるさと納税額（＋4,263万円）					URL	令和8年7月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」

継続

申請者	青森県弘前市					初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	113,013千円 (19,742千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・県内外の人が協力しながら当市のPR媒体を作成し、魅力発信のイベント等を行うことで、当市への多様な人の流れを作る。 ・地元へ定住・還流する若者を増やすため、人材育成支援のための体制整備を行いながら、地域人材の育成を図る。 ・地方へ関心を持ってもらい、関心度を高めるため、転出者をはじめとする県外在住者が当市とつながる機会を提供する。これらの取組により、当市が県内外の若者にとって興味深い地域となり、地域へ目を向ける人や地域と関わる人が増えることで、地域力維持・向上の一助とする。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内外の人が連携しながら当市の魅力PRのための媒体を作成し、県外へ発信するほか、当市へ関心を持った人が地域を知るきっかけとなるような機会を提供する。また、若年層の地元定着や将来的なUターン移住の意識を高めるほか、地域を担う人材を育成するため、高校・大学在学中から地域への愛着心・地域志向の醸成へつながる取組を行う。 このほか、首都圏に在住しながら当市とのつながりを継続したい出身者を取り込み、当市に関心を持つ県外在住者が交流・情報共有できるコミュニティを形成する。					■ 関係人口の拡大及び地域人材の育成による移住・定住推進 ■ 		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○関係人口の創出 ・PR媒体編集チーム運営、当市のPR活動等（委託料）：10,500千円 ○地域をフィールドにしたひとづくり ・プロジェクトの周知にかかる経費（印刷製本費）：50千円 ・プロジェクトの企画運営にかかる経費（委託料）：7,999千円 ○首都圏における若者のコミュニティづくり ・イベント開催にかかる経費（委託料：イベント出演業務SNS広告掲載業務、使用料及び賃借料、印刷製本費、費用弁償等）：1,193千円							
主なKPI	①弘前市への移住者数（+330人） ②弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」関係人口創出事業への参加者数（+505人） ③地域をフィールドにしたひとづくり参加者数及び首都圏における若者コミュニティづくり参加者数（+1,000人） ④当市に関心がある方を対象としたSNSコミュニティへの登録者数（+1,310人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihousousei-koufukin.html

申請者	青森県弘前市					初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	209,151千円 (42,328千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・健康ビッグデータに基づくQOL健診等によりメタボリックシンドロームを予防・改善し、社会保障費の削減等を図る。 ・地元企業によるメタボリックシンドロームの予防・改善プログラムを構築し、ヘルスケア産業の雇用創出へとつなげる。 ・持続可能なスキームを構築し、健康で生き生きと働き続けられるWell-beingな地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 弘前大学をはじめ、多くの大手ヘルスケア関連企業や青森県、当市などにより構成する弘前大学COI-NEXTの枠組みにおいて、三大生活習慣病の源であるメタボリックシンドロームに着目し、これまで実施してきたQOL健診の普及展開に加え、メタボリックシンドロームを予防・改善する健康プログラムを提供する伴走型の取組を、成果連動型民間委託契約方式により実施するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○QOL健診実施経費（委託料）4,043千円 ○健康プログラム提供経費（委託料）15,823千円 ・健康プログラムの提供 ・地元企業を対象とした健康プログラムの説明会 ○サービス向上及び周知啓発（委託料）18,713千円 ・健康アプリ運用 ・イベント実施等 ○将来の働き盛り世代に対する健康教育等実施（講師謝礼、教材費、印刷製本費）737千円 ・健康教育実施等 ○SIB移行準備等実施経費及び第三者評価実施経費 3,012千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地の歩行者・自転車通行量（+7,500人） ②メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合（▲6.5%） ③特定健康診査の受診率（+22.8%） ④健康プログラムにおける地元企業の関与件数（+3件） ⑤弘前版PFS/SIBモデル事業への資金提供に関する協議を行っている企業数（+2件）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihousousei-koufukin.html

申請者	青森県弘前市ほか 1 3 自治体※	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	112,931千円 (40,619千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・津軽地域全体での観光に取り組む方向性の統一と地域における観光関連事業者の稼げる仕組みの確立 ・行政や事業者など多様な主体の連携を深めて圏域の総力を結集することで、新たな観光価値の発掘や多種多様な観光コンテンツの提供など観光振興のブレイクスルーを起こす ・地域の観光情報を集約してより多様な趣向に一度に応えられるようにスケールメリットを活かした面的なプロモーションの事業展開を行う		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・観光DXによる地域観光の振興を目的として、宿泊関連データや圏域内宿泊施設毎の空室率確認・予測システムの導入などによるデジタルマーケティング分析を行うとともに、マーケティングアドバイザーの支援のもとで客観的なデジタルマーケティング分析及び観光戦略策定・ターゲット選定に取り組む ・デジタルマーケティング分析と観光戦略に基づき、津軽地域の強みを活かした特徴的な観光コンテンツ等の開発や、ターゲット層が満足に周遊できるような受入環境の整備、ターゲット層にする効果的な魅力発信や誘客促進施策を行う	 Clan PEONY 津軽  岩木山の恵みに触れる旅づくり	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・宿泊データ分析システム活用事業（委託費）8,957千円 システムの導入により宿泊属性等のマーケティング分析能力の向上及び域内宿泊者数の増加を目指す ・地域観光の目玉となる旅行コンテンツ造成事業（人件費）4,000千円 ・地域観光の目玉となる旅行コンテンツ造成事業（商品造成費）1,650千円 地域の観光の実情に関する深い知見と豊富な経験を有し、地域事業者との強い関係性を持つ専門人材の雇用により宿泊につながる強い旅行コンテンツの造成や磨き上げを行う ・ターゲットを絞った広告掲出・プロモーションの実施（広告宣伝費）4,000千円 造成・磨き上げた旅行コンテンツを、ターゲット層に向けて効率的に販売するための広告宣伝を実施する		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+124億円） ②（一社）Clan PEONY 津軽ホームページのプレビュー数 （+9万PV） ③（一社）Clan PEONY 津軽ホームページを介して販売された旅行コンテンツの販売額（+210万円） ④旅行コンテンツの造成件数（+40件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihouseusei-koufukin.html

事業概要：環境変化適応型果樹産地形成事業

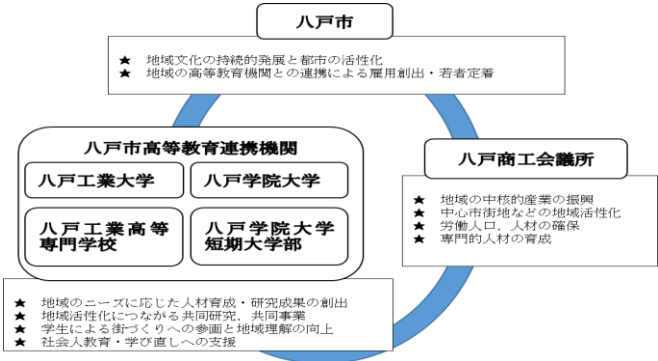
新規

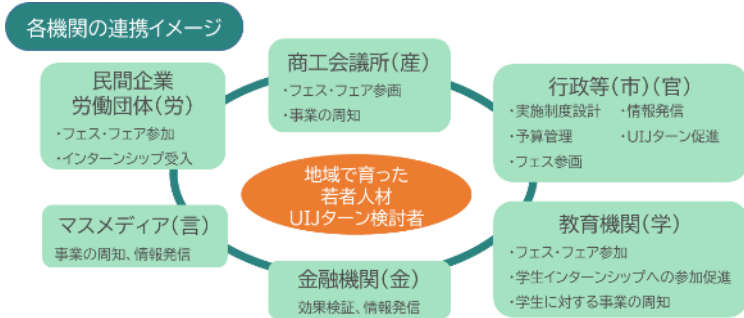
申請者	青森県弘前市					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	15,900千円 (5,500千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・地域の基幹産業であるりんご産業を軸に、果樹の一大産地としての地域の活力・魅力を向上させ、環境変化に適応した果樹産地を形成し、地域産業の発展を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 急激に変化する環境変化に適応し、地域経済を循環させる持続可能な果樹産業の実現に向け、温暖化に適応したりんごを軸にした生産ポートフォリオによる特産果樹の産地形成、鳥害の原因追及、若年層の新規参入のスキームを構築し、関係機関が一体となって人材を確保し、産地のブランド定着に向けた方向性の共通認識化を行うとともに、生果・加工品の両面からブランド力を高め、果樹産地のイメージを強化する。					環境変化に伴うリスク等 温暖化 人口減少 鳥獣害増加 生育不良 消費の変化 担い手減少		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○温暖化に適応した産地形成強化 ・りんごを軸としたポートフォリオ産地形成強化 検討会議開催（謝礼、費用弁償等）200千円 特産果樹の高品質維持を可能とする出荷体制の構築（委託料）2,000千円 ・特産果樹加工品開発及びブランド化マッチング体制構築（委託料）100千円 ・果樹高品質確保リスク低減対策事業（委託料）2,000千円 ○『あぐり』キャリア形成事業 ・若年層への農業インターンシップ（委託料）1,200千円					温暖化に適応した産地形成  ・温暖化に適応した生産ポートフォリオ ・生産ポートフォリオによる特産果樹加工品開発 ・鳥獣害のリスク軽減 『あぐり』キャリア形成  ・若年層の農業キャリア形成 ➡ 環境変化に適応する地域産業へ		
主なKPI	①弘前市の果樹産出額（+30億円） ②インターンシップ参加者数（+30人） ③特産果樹マッチング成立件数（+6件） ④りんごの収穫量（+60トン） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/sougoukeikakusingi.html	
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：産学官連携による八戸未来創造事業

旧制度（推進）

申請者	青森県八戸市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	89,358千円 (30,006千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	「産学官連携による八戸未来創造中長期計画」において、若者人口【15～29歳】の増減数を中期（2025年）に▲2,000人まで抑制し、長期（2045年）に増減を均衡させることを目標として定めており、当目標を達成していくために、産学官の連携を強化し、若者の地元への愛着の醸成や地元定着等に向けた取組を進め、将来的な若者人口の社会増減の均衡を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産学官連携による人材育成と雇用創出、魅力発信を通じて、若年層の転出超過や人口減少、地元企業の人手不足等の課題解決を図る。市内高等教育機関や企業と連携し、地域ニーズに応じた人材育成や企業誘致を進めるとともに、こどもから若者まで地元への愛着を高め、将来的な定住・定着につなげる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○産学官連携推進事業 ・事務局体制の整備、ニーズ調査を踏まえた高等教育機関・市内企業PR、インターンシップ等による人材育成や外国人材の受け入れ・活用等に係る取組（負担金）10,000千円 ○人材育成・雇用創出事業 ・社内人材育成支援事業（委託料）3,300千円 ・クロステックイノベーション事業（委託料）8,000千円 ○こどもの当市への愛着や理解を促進していくための魅力発信事業 ・こども向けホームページの作成（委託料等）8,706千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+15人） ②若者の市外転出者（抑制）数（▲60人） ③産学官連携事業数（+6事業） ④外国人留学生数（+15人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.hachinohe.aomori.jp/



申請者	青森県八戸市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,797千円 (26,643千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・産業フェスタ、リクルートフェア、企業学生間のマッチング・インターン支援、UIJターン検討者向けの取組を一連で行うことで、地元企業の認知度向上や情報発信力を強化し、地元で育った人材の地元定着や人材還流の促進を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 学生や若者等に対して地元産業の魅力を発信する機会を創出することを目的として、サンフェスHACHINOHE及び八戸企業魅力発信×発見フェアを開催する。また、企業と学生をつなげる取組としてはちのヘリアルワーク体験事業を実施するほか、超帰省を通じた地元の魅力向上を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○サンフェスHACHINOHE開催支援事業 負担金8,500千円（委託料8,350千円、会議運営費150千円） ○はちのへ企業魅力発信×発見フェア開催事業 負担金10,000千円 ○はちのヘリアルワーク体験事業 委託料6,000千円 ○超帰省®応援事業 印刷製本費341千円、通信運搬費18千円委託料1,766千円、報償費18千円							
主なKPI	①地域へのUIJターン数（+15人） ②新規高等学校の管内事業所への就職割合（+3%） ③新規市内高等教育機関卒業者の管内事業所への就職割合（+3%） ④インターンシップ受入可能企業数（+20社） ⑤八戸市公式SNS等の合計フォロワー数（+13,800人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hachinohe.aomori.jp/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

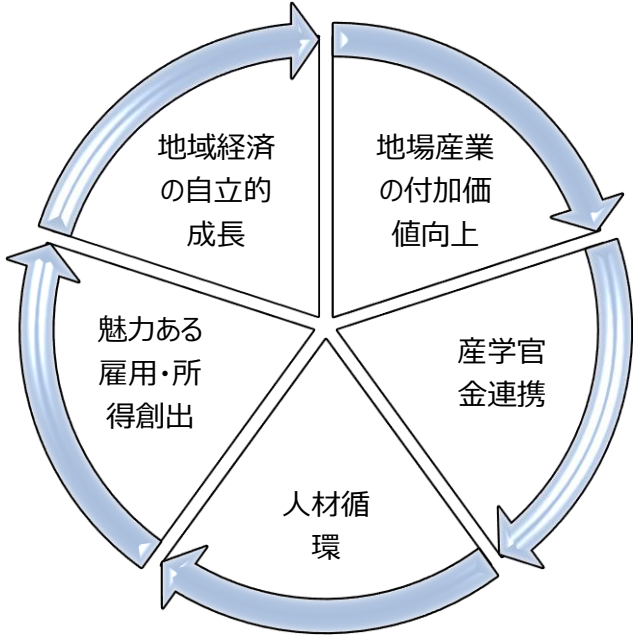
事業概要：「食のまち・八戸」推進プロジェクト

新規

申請者	青森県八戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,135千円 (28,095千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・八戸の水産物・農畜産物を核に、体験型・参加型コンテンツで地場産品の魅力を発信し、地域理解と認知の向上を図る。 ・消費額や滞在価値の向上、国内外市場への販路拡大を通じて、付加価値の創出とブランド力強化を図る。 ・高付加価値化と収益循環を実現し、地域経済の自立的・持続的成長を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・八戸市の水産物や農畜産物を核に、食の価値の可視化と体験型・参加型コンテンツによる消費行動の高度化を通じて、地域の地場産品の付加価値向上とブランド強化を目指す。さらに、国内市場での継続的需要の確立や、海外市場への販路拡大を進めることで、地域内外で持続的に収益を生み出す自立的な経済循環モデルを構築する。 ・本事業では、食を体験・学びと結びつける各種イベントを展開し、消費拡大・ブランド価値向上・地域経済への波及効果の最大化を図るもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ワールドシーフードウォーク （講師・司会謝礼、費用弁償等）243千円、（委託料等）8,733千円 ・HACHINOHEおさかなフェス（負担金）6,000千円 ・八戸農業アカデミー事業（講師謝礼、費用弁償）499千円、（会場借上料）693千円、（委託料）897千円 ・海外販路強靱化プロジェクト（製作費）350千円、（委託料）10,680千円						
主なKPI	①観光消費額（+67億円） ②“食のまち”として八戸を認知している割合（+25%） ③「食」に関するイベント来場者数（+9,600人） ④新規取引・取引拡大大件数（+18件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hachinohe.aomori.jp/

事業概要：八戸若者活躍応援プロジェクト

新規

申請者	青森県八戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	29,883千円 (9,961千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、若者・女性の定着および転出者の回帰を促進するため、地場産業の付加価値向上と人材循環の仕組みを構築することを目的とする。産学官金連携による事業創出や人材育成、関係人口との継続的な接点形成を通じて、魅力ある雇用と所得の創出を図る。これにより、地域経済の自立的成長を促し、生産年齢人口の減少トレンドの緩和と持続可能な地域づくりにつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、若者・女性の定着と転出者の回帰を促進し、地域経済の自立的・持続的成長を実現するため、地場産業を軸とした人材・事業・所得の好循環を構築する取組である。 具体的には、若者や女性が主体となって地域課題の実証や提案を行う「若者実証プロジェクト」により、地域の魅力向上と担い手育成を図るとともに、産学官金が連携した「はちのへ未来創造塾」を通じて、地場企業の新規事業創出や既存事業の高度化を支援し、付加価値向上と雇用創出につなげる。さらに、首都圏在住の市内出身者を対象とした「八戸とつながる同窓会」を開催し、地元企業との継続的な接点形成を図ることで、将来的なUIターンや地場産業を支える人材回帰を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・はちのへ未来創造塾事業 （謝礼、費用弁償等）2,755千円、（印刷製本費）106千円、（会場借上料）548千円、（負担金）468千円 ・若者実証プロジェクト （謝礼、費用弁償等）1,781千円、（会場借上料）303千円、（委託料）1,000千円 ・はちのへと繋がる同窓会開催事業 （負担金）3,000千円						
主なKPI	①地域へのUIターン数（+15人） ②新ビジネスプラン実行件数（+12件） ③“八戸市が住みやすい”と思う割合（+3%） ④若者実証プロジェクトで手掛ける実証件数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hachinohe.aomori.jp

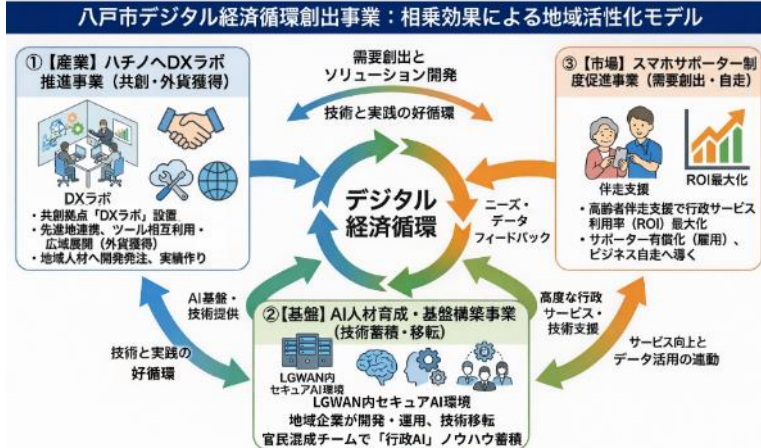
事業概要：GX推進による地域産業力強化プロジェクト

新規

申請者	青森県八戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,000千円 (23,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・GXに関する普及啓発活動を実施し、市内企業・関係機関等の関心向上を目指す。 ・官民の関係者が参画するコンソーシアムを設置し、地域が一丸となってGXを着実に推進していく。 ・GX関連プロジェクトの推進や、地域内におけるカーボンオフセットの推進等を通じて、地域企業の経営基盤（稼ぐ力）を強化し、当地域の産業競争力を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日本経済がGXの推進により脱炭素成長型経済へ移行しようとしている中、当地域ではGXに対する関心が低く、理解醸成が急務となっているため、プロモーションツールの製作やセミナー等を開催するとともに、GXに関する知識を有する専門人材（エバンジェリスト）を育成する。また、排出量取引制度の開始などGXの動きが本格化する中、当地域においても新たにGX関連の取組を進める必要があることから、GX・次世代エネルギーに関するプロジェクトを検討し、実行する。加えて、プロジェクトの実施主体となる官民連携のコンソーシアムを設置・運営する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・GX・次世代エネルギー導入推進プロジェクトを検討（委託料）15,000千円 ・GX普及啓発事業（委託料）5,000千円 ・官民連携コンソーシアム設置・運営事業（委託料・負担金）3,000千円						
主なKPI	①従業員一人当たりの粗付加価値額（＋11万円） ②プロジェクトの参画者数（＋10者） ③専門人材の活動件数（＋24件） ④セミナー等への参加者数（＋100者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hachinohe.aomori.jp /
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

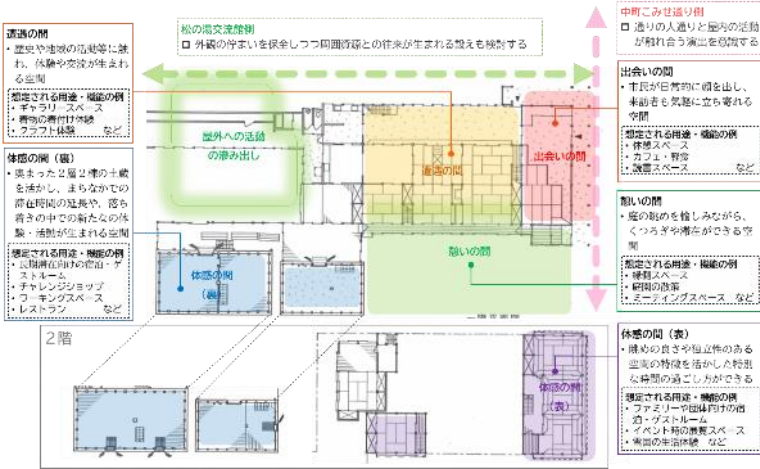
事業概要：八戸市デジタル経済循環創出事業 ～「地域で創り、地域で使い、地域で稼ぐ」IT投資の地産地消モデル～

新規

申請者	青森県八戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,500千円 (13,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	【目的】年間12.7億円のIT経費が大手ベンダーへ流出し、地域への経済的還元が希薄化している。また、市内企業は下請けにとどまり成長機会を逸しているほか、高齢者等のデジタル活用も進まず、投資対効果は低い。こうした課題を踏まえ、公共IT投資を「地域産業への投資」へと転換し、地域企業の「元請け化（稼ぐ力）」と市民の「利用環境（使う力）」を整備することで、資金と雇用が地域内で循環するエコシステムの構築を目指す。 【期待される効果（KPI）】地域経済：市内IT企業の公共調達受注額 3.8億円（シェア30%）コスト削減：中間マージン排除による調達コスト適正化雇用創出：スマホサポーター制度による新規雇用 60名						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①【産業】ハチノヘDXラボ推進事業 共創拠点「DXラボ」を設置。発掘した地域人材へ庁内開発案件を優先発注し、実績を作らせる。先進地と連携し、ツールの相互利用や広域展開（外貨獲得）を目指す。 ②【基盤】AI人材育成・基盤構築事業 LGWAN内にセキュアなAI環境を構築。開発・運用を地域企業が担うことで、閉域網でのAI実装技術を地域へ移転・定着させる。職員・企業の混成チームによる実践開発を通じ、参入障壁の高い「行政AI」のノウハウを蓄積する。 ③【市場】スマホサポーター制度促進事業 高齢者への伴走支援で、行政サービスの利用率（ROI）を最大化する。サポーターを有償化（雇用）し、将来的なビジネスの自走へ導く。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ハチノヘDXラボ推進事業費（委託料）3,500千円 ・AI人材育成・基盤構築事業費（委託料）4,400千円 ・スマホサポーター制度促進事業費（委託料）5,100千円						
主なKPI	①市内IT関連雇用者数（+75人） ②市内IT事業者の公共調達受注額（+3.3億円） ③市内IT事業者との元請け契約件数（+30件） ④地域ITパートナー登録企業数（+25件） ⑤認定スマホサポーター（+60人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.hachinohe.aomori.jp/

事業概要：伝統的建造物（旧西谷家住宅）を利活用した観光拠点整備事業

新規

申請者	青森県黒石市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	479,561千円 (41,800千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・中心市街地に観光・地域交流の拠点を整備し、そこをハブとしてエリア全体を回遊する仕組みを構築することで、エリア全体の価値が高まり、中心市街地の活性化が図られるとともに、誘客の促進及び関係人口の増加へつながる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和7年度に実施した、伝統的建造物の利活用とエリアリノベーションの実践モデル調査により、市民や観光客のニーズの把握、市内各団体及び民間事業者からのヒアリングを通して、エリアの価値向上のために観光・地域交流の拠点としてハブとなる施設が求められていることから、旧西谷家住宅を利活用し、重要伝統的建造物群内にある旧西谷家住宅を観光拠点として整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・耐震設計 7,810千円 ・改修設計 33,990千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の総人口（▲2,835人） ②主要イベント入込数（+37,800人） ③歩行者通行量（+894人） ④中心市街地での新規出店数（+24件） ⑤SNS等閲覧回数（+175,000回） ⑥交流スペース（カフェ）利用者数（+30,000人）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

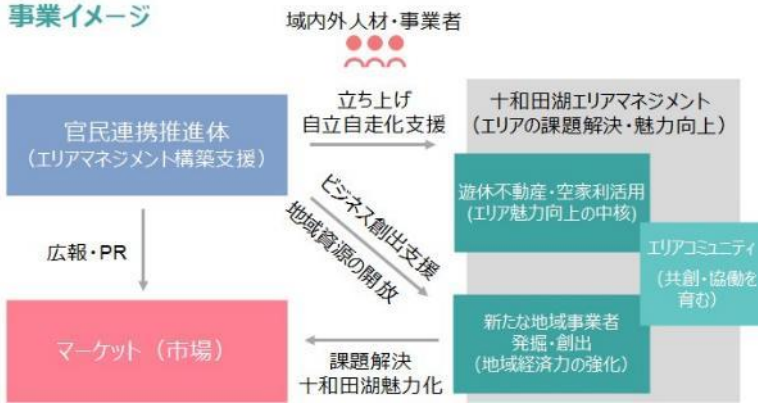
事業概要：屋内型子どもの遊び場整備事業

新規

申請者	青森県十和田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	191,810千円 (191,810千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・全天候型の遊び場の整備により、季節や天候にとられない子どもや親の居場所を確保し、子どもが健やかに育つ環境づくりを行う。 ・子育て環境を充実させることにより、子育て世帯や若者世代に対する本市の魅力を向上させ、若者の人口流出の抑制、移住の促進に繋げる。 ・中心市街地に立地する市の既存施設を活用して整備することにより、まちなかの賑わいの創出、地域振興に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「すべての子どもがつながり、楽しく遊びながら成長できる遊戯空間」をコンセプトとし、既存の市の施設である「十和田市市民交流プラザ」内の「プレイルーム」、「親子ふれあいスペース」、「展示室」を活用し、天候に左右されことなく体を使って思い切り遊ぶことのできる屋内型遊戯施設の整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・屋内遊戯施設整備業務委託 遊具製作・設置等業務 181,810千円 ・既存床整地等業務委託 遊具設置のための整地等 10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（+34人） ②屋内遊戯施設年間利用者数（+9,000人） ③中心市街地の歩行者・自転車通行量（+500人／日） ④民間消費額（地域内ベース）（+130億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：十和田湖地域づくり事業

新規

申請者	青森県十和田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	60,852千円 （18,898千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・目的：官民連携により、十和田湖エリアの課題を解決し、環境保全と経済発展が両立する「サステナブルなナショナルパーク」を実現。 ・効果：地域課題を解決するビジネスの創出により、新たな雇用や賑わいが生まれ、「稼ぐ地域」への転換が進むことで、エリアとしての価値向上と持続可能な地域経営が実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1. 空家の総合相談窓口：空き家を「未活用な資源」と捉え、相談窓口を設置。物件流動化のための基礎的調査やマッチングを支援し、負の遺産を資産へ転換する。 2. 地域における事業者創出・自立化支援：地域の課題を「ビジネスの種」に変える実践型伴走を展開。地域内外から自立して稼ぐ人材と事業を育成し、経済循環を創出する。 3. 十和田湖エリアのビジネスコミュニティ構築：官民・多業種のビジネスコミュニティを形成し、課題の解決とエリア全体の価値向上を推進。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 1. 空家総合相談窓口：遊休不動産活用事業（委託料）7,485千円 2. 地域における事業者創出・自立化支援：地域経済の循環創出（委託料）9,103千円 3. 十和田湖エリアのビジネスコミュニティ構築：エリアマネジメントの推進（委託料）2,310千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①十和田湖の南岸に位置する休屋地区の社会増（転入者数－転出者数）（+49人） ②休屋地区の空家減少数（+28戸） ③休屋地区の空家利活用相談新規相談受付件数（+41件） ④休屋地区で事業を開始した事業者数（+7社） ⑤本事業の事業創出等支援事業に参加した社数（+35社） ⑥ビジネスコミュニティへの登録者数（+50人・社）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

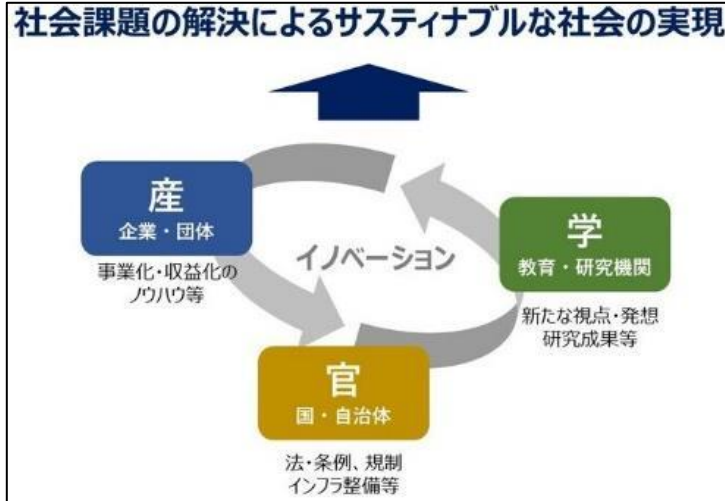
事業概要：プラス1000歩チャレンジ事業

継続

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,454千円 (1,127千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スーパーなどにステッカーやポスター等を設置し、自然に歩きたくなるような仕組みづくりを行うことで健康寿命の延伸を図る。 ・多世代の方がウォーキングに親しめるよう、大学と連携しイベントを企画することで地域の健康づくりに対する意識の醸成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 厚生労働省の身体活動・運動ガイドでは、「1日あたり10分の身体活動を増やすことで、生活習慣病発症や死亡リスクが約3%低下する」と推測されていることから、働き盛り世代を主な対象とし、市民の活動量を+（プラス）10分、歩数換算で+（プラス）1000歩増やせるような環境づくりとウォーキングイベントを行う。					例)床面ステッカー 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ウォーキングイベント（報酬）43千円 ・運動セミナー講師（報償費）23千円 ・運動イベント講師など（旅費）7千円 ・イベント開催等（需用費）184千円 ・体組成動産保険（役務費）57千円 ・床面ステッカー等（委託料）813千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①BMI25以上の者（19～39歳男性）（▲1%） ②BMI25以上の者（19～39歳女性）（▲1%） ③プラス1000歩多く歩くことを意識する者の割合（+60%） ④ウォーキングイベント参加者の20代、30代の割合（年間・延べ）（+26%） ⑤来店時にステッカーを利用した者の割合（+40%） ⑥八戸学院大学と協働で行うSNSの発信回数（+8回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：産学官連携による地域産業活性化プロジェクト

継続

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	8,500千円 (2,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・産学官連携により、農林水産業の事業者が抱える課題の解決を図ることにより、事業者の所得向上を図るとともに、持続可能な地域産業モデルの構築や新たな産業の集積を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産学共創による研究体制が進んでいる東北大学大学院農学研究科と連携し、各事業者の課題解決に向けた調査・研究に取り組むことにより各事業者の経営体制の強化を図る。 ほか、加工用じゃがいもの産地化を目指し生産量の増加を図るため、新たに栽培するあるいは栽培規模の拡大に取り組む農業経営体に対して、栽培等に要する経費の一部を補助金として支援する。					社会課題の解決によるサステナブルな社会の実現 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○産官学連携イノベーション創出事業 ・調査・研究等委託（委託料）2,432千円（うち対象経費 1,700千円） ○加工用じゃがいも産地化支援事業 ・産地化支援補助金 1,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①むつ市の農業産出額（+30億円） ②事業に参画した事業者における農業所得の増加割合（+10%） ③産学官連携イノベーション創出事業における連携事業者数（+10者） ④加工用じゃがいもの栽培面積（+6ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：広域観光を核とした稼げる地域づくり創生事業

継続

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	165,194千円 (53,128千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・海外市場を意識した販路開拓及び観光誘客や、むつ市と世界の架け橋となる人材の育成に積極的に取り組むとともに、受入環境の整備として既存の観光資源の磨き上げ、新たな観光コンテンツを創出するための産業振興を図る。 ・地域の観光・物産関連団体が統合して発足する新たな法人が、これらの取組の旗振り役を担うことから、新法人への伴走型支援を実施し、下北地域全体で「稼げる地域」の実現を目指す。 ・これらの取組を通じ、地域事業者の収益向上、生産者や労働者の所得向上、地域内雇用の創出を実現することで、若者をはじめ、誰もが住みたいと思えるまちづくりに寄与し、若年世代の人口流出や人口減少に伴う地域経済の衰退に歯止めをかける。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 台湾高雄市との交流発展を通じた賑わいづくりや、伝統文化である夏祭りの環境整備を実施する実行委員会を組織し、海外販路開拓やインバウンド誘客につながるような魅力向上を図る。また、世界夜景遺産に認定されたむつ市の夜景を活用し、ナイトタイムエコミーの活性化に寄与する夜景観光のブラッシュアップを図り、誘客イベント等の実施によりPRに注力する。 さらに、新たな産業の柱として、地域の原料等を活用したビールを試作し、その事業展開の可能性についての調査や事業計画の策定、具体的商品企画を実施する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○田名部・大湊地区閃閃事業負担金 6,760千円 ○光のアゲハチョウ推進事業 ・夜景鑑賞の誘客促進業務（委託料）1,074千円 ・夜景を活かした誘客イベント開催業務（委託料）3,347千円 ○新たな産業による稼げる地域づくり事業 ・調査業務、試作業務（委託料） 5,263千円 ○しもきたツーリズム負担金 36,684千円					 		
主なKPI	①年間観光入込客数 （+153,413人） ②下北地域内における観光消費額 （+20.4億円） ③下北地域内における宿泊者数 （+56,430人） ④海外事業での新規取引件数 （+15件） ⑤釜臥山展望台利用者数 （+12,622人）					URL		
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.city.mutsu.lg.jp/government/seisaku/tihousouseikoufukin.html

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,100千円 (17,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 今後の学力向上やそこから繋がる人財育成に向けて、東京大学と連携し、最先端技術を用いた科学トレーニングを取り入れることにより、こどもたちの将来への広い視野と「考えることで強くなる」という意識の醸成を図る。 - 最先端技術を有効に活用できる環境を整え、より高いレベルでのトレーニング効果を求める地域外選手の利用又はチームの合宿誘致を促進することで、宿泊業や飲食業の活性化及び観光地としての入り込み客数の増加を図る。 - 市が中心となって運営している地域クラブのほか、地域住民が組織・運営し中学校部活動の受け皿となり得る地域クラブに運営補助金を交付し支援することで、地域でのクラブ活動が幅広く展開され、全ての中学生の活動の選択肢及び大会出場機会が拡充される。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 東京大学スポーツ先端科学連携研究機構との連携により、中高生スポーツの競技力向上事業や東大生との交流事業、中学部活動地域移行推進事業による教育環境における課題解消、また、生涯活躍のための健康づくり事業や市有スポーツ施設利用促進事業による地域住民の健康課題解消といったスポーツの観点から取り組むことが可能と考えられる地域課題の解消を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○東京大学連携事業費 10,000千円 (うち、対象事業経費は9,000千円) ・陸上選手を中心としたアスリートの動作分析 ・東大生とむつ市小中高生徒の交流イベント ・連携事業の円滑化のための教授派遣 ○むつ市地域スポーツクラブ補助金 8,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の交流人口の増加（東京大学関係者の来市延べ人数）（+350人） ②中学生の全国大会出場件数の増加（+4件） ③中学生の地域クラブ加入率（+1.5%） ④健康増進プログラム参加者数（+170人） ⑤市総合体育館（むつマエダアリーナ）の施設利用者の増加（+61,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	371,250千円 (224,013千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・湯野川温泉濃々園をリニューアルし、新たな観光及び賑わい拠点を整備することで、観光消費額の増加を図る。 ・車中泊が可能なRVパークを整備することで、近年のドライブ観光やアウトドア需要に対応するとともに、下北半島の周遊観光のハードルを下げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 むつ市川内地区においては、観光客等と呼び込むための強力なコンテンツとなる観光拠点の整備が急務であるとともに、広域周遊観光の拠点施設不足、季節依存の観光といった課題を解決し観光振興につなげるため、地域資源である温泉を活用した観光振興と地域住民の休養を目的として開設されていた「むつ市湯野川温泉濃々園」をリニューアルし、新たな観光及び賑わい拠点として整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○湯野川地区に濃々園（温泉設備）を新築 ・建築工事費 133,604千円 ・電気設備工事費 40,153千円 ・機械設備工事費 43,498千円 ・工事現場監理費 6,758千円 ・既存ポンプ設備更新 5,500千円						
主なKPI	①下北地域における観光消費額（+3,853百万円） ②誘客イベント開催数（+7回） ③年間観光入込客数（+213,413人） ④施設利用者数（+38,000人）					URL	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mutsu.lg.jp/government/seisaku/tihousouseikoufukin.html

事業概要：地域産業持続的発展のための次世代地元還流・定着支援事業

新規

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	47,752千円 (15,584千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・小中学生の職業観を具体化：実在企業のリアルな仕事体験を通じて、「働く」イメージを明確にし、地元企業を将来のキャリア選択肢として認識させる。 ・郷土愛・誇りの醸成：教科書では得にくい専門技術や地域インフラを支える仕事の価値に触れ、地元への愛着と誇りを育む。 ・参画企業の人材・ブランド効果：体験プログラム開発で教育・体験設計ノウハウを蓄積し、知名度向上による将来の採用母集団形成と企業ブランド確立につなげる。 ・保護者の意識変容と地域消費の促進：こどもの活躍を見て地元企業への評価が高まり、家庭内で「地元就職」を前向きに語れる環境づくりと地元製品・サービスの利用意欲向上を促す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、小学生期から中学卒業までの早期段階で「地元で働き住み続ける」選択肢を具体化するため、キッズニア監修の「Out of KidZania in むつ（仮称）」を開催する。実在企業の仕事を忠実に再現した職業体験を、専門スタッフが各社へのヒアリングを基に開発し、学びと楽しさを両立。専用通貨の獲得・消費も通じて労働と経済を学ぶ。運営は若手経営者らの実行委員会が担い、連携強化や地域活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「Out of KidZania in むつ（仮称）」実行委員会負担金 14,334千円 イベント運営経費 8,360千円、キッズニア監修委託 5,974千円 ・ホームページ作成及び広報関係費 1,250千円						
主なKPI	①若年者層の5年前からの人口増減率（＋3％） ②職業体験イベントに参加した児童・生徒数（＋2,550人） ③市が実施する若年者層に向けた地元就職促進のための事業への参加事業者数（＋272社）					URL	令和8年7月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：観光地域づくり戦略事業

新規

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,552千円 (12,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・専門知識を有し、観光による地域づくりを担った実績のある方をアドバイザーとして招致する。 地域事業者との打合せ、ワークショップ等を重ね、現状分析と課題の洗い出し、地域一帯となった観光戦略の検討を進めることで、長年抱えていた当市の観光課題の解決に取り組み、観光誘客の推進と地域の活性化に繋げる。 ・観光地域づくり戦略アドバイザーや地域事業者等からのアドバイスに基づき、新たなパンフレットや、外国語パンフレットの作成等を行う。 また、ジャパンエコトラクルートマップを作成し、観光誘客と観光消費額の向上に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光による地域づくりにより、地域の活性化と観光消費額の向上に繋げるため、長期的な観光戦略が必須である。人口減少や高齢化に伴い事業者等が減少する中において、地域が一丸となるために、知見を有する方をアドバイザーとし、打合せやワークショップ等を重ねることで地域の声をまとめ、地域一体となった観光の長期戦略を策定する。 同時に、プロモーションを実施することで、観光誘客の促進と観光消費額の向上に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光地域づくり戦略策定事業 7,328千円 (対象額 6,986千円) ・観光地域づくり戦略に基づいた観光プロモーション事業 5,214千円 (対象額 5,214千円)					 	
主なKPI	①下北地域における観光消費額 (+21.2億円) ②年間観光入込客数 (+255,536人) ③打合せ、ワークショップ・研修会等参加者数 (+延べ180人) ④観光客の来訪者満足度 (+10.7%以上) ⑤外国人宿泊者数 (+1,000人)					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.mutsu.lg.jp/government/seisaku/mutususougoukeieikeikaku.html https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kanko/kanko/kankoutoukei.html

事業概要：ローカル鉄道無人駅を活用した（仮称）地域づくり活動拠点施設整備事業

継続

申請者	青森県平川市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,472千円 (105,746千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	地域住民、移住者、観光客など多様な人が日常的に集い、交流できるとともに、周辺地域において様々な地域活動を展開している地域運営組織の活動拠点となる施設を整備することにより、地域ニーズに対応した暮らしやすさの向上と住民主体による地域づくりの推進を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 アンケート調査により明らかとなった子育て支援、交流機会の創出、生活利便性の向上といった地域ニーズに対応するため、地域内の無人駅である弘南鉄道館田駅を活用し、地域づくり活動拠点施設を整備する。施設内には、コミュニティカフェ、産直スペース、学習スペース、多目的交流スペースを設け、地域住民に加え、鉄道利用者や観光客の利用も想定した複合的な機能を持たせる。なお、運営にあたっては、地域運営組織が中心となり、集落支援員や地域おこし協力隊との協働により、地域課題の解決や交流促進に資する事業を展開する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物整備 地域づくり活動拠点施設整備工事 101,101千円 ・設備整備 無線LAN環境整備 1,386千円 ・その他 工事施工監理 3,259千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口数 (▲1,890人) ②ワークショップ等のイベント数 (+540回) ③コミュニティカフェ利用者数 (+72,240人) ④農産物・地域産品の販売額 (+21,672千円)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

申請者	青森県深浦町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,978千円 (12,078千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域課題である人口減少・子育て世代の流出に対応するため、保育園留学を起点とした滞在型地域体験プログラムを導入し、子育て世代の移住・二拠点居住を促進する。 滞在者の増加を通じて地域の教育・子育て環境の魅力を発信し、交流人口・関係人口の拡大と、地域経済への波及効果（観光収入・宿泊施設活用・ふるさと納税増等）を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域課題である人口減少および若年層の流出に対応するため、子育て世代の移住促進や関係人口の拡大を目的として、「保育園留学」を中心とした滞在型体験プログラムを深浦町に実装する						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 地域外からの人流を創出する保育園事業 1. 保育園留学運営経費（9,900千円） 募集ポータルサイト管理・運用、利用者調整、問い合わせ対応等 2. 中期滞在の環境整備（2,178千円） 中期滞在用の拠点の居住環境整備						
主なKPI	①域内消費額（地域への経済効果）（+7,000千円） ②滞在世帯数（+35組） ③滞在日数（+735日） ④移住を希望する人の数（+21人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.fukaura.lg.jp/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：集い、学び、賑わう新たな交流拠点施設整備事業

新規

申請者	青森県深浦町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	567,372千円 (336,890千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「生きがいづくり」、「子育て支援」、「健康づくり」、「交流」、「官民連携」機能を有した地域交流の拠点となる複合施設を整備し、趣味や学び、多世代交流等の様々な活動を提供する。また、町民が集まる居心地の良い居場所（サードスペース）としての魅力を最大限に高め、若者の地元定着、移住定住にも繋げるとともに、地方の経済成長を促進し、強い地方の創生、雇用創出や生活サービスの維持・確保にも繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・閉校となった、青森県立木造高等学校深浦校舎を利活用し、町民の交流や活動拠点となる新たな複合施設として整備する。多くの町民にとって、豊かな生活と自分らしく過ごすことができる居心地の良い拠点空間を創出するとともに、こどもの遊び場設置やイベント、講座、スポーツ大会の開催により、魅力と快適性を高め、集客力を高める。さらに、利用者や活動団体を支援することで、新たな活躍人材を創出するサイクルの形成を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 ・交流拠点複合施設整備工事 336,890千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会減の縮小（+128人） ②来場利用者数（+3,600人） ③生涯学習及びスポーツ活動事業参加者数（+2,400人） ④複数機能を連動させたイベント数（+19回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.fukaura.lg.jp/

申請者	青森県藤崎町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	111,206千円 (17,674千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・ふじさき食彩テラスの冬期間の販売力向上・農業就業人口の減少による担い手不足の解消 ・農産物のブランド化や、6次産業化の取り組みの多様化・交流・関係人口の伸び悩み解消		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町の有休資産を利活用した屋内ファームの整備により、新たな農産物の生産にとり組み、加工品開発等を行うことによって1年を通じた稼ぐ力の向上を目指す。また、農福連携により農業×福祉人材による地域農業の担い手不足解消へ寄与する。観光農園プログラムを整備することで交流・関係人口の創出に取り組む。		 りんご「ふじ」の原木を活用した観光×食体験プログラム
	【R8年度事業 経費内訳】 ○チャレンジファーム事業 ・アクアポニックス農産物・養殖魚生産に関する専門家のアドバイス（報償費） 900千円 ・事業推進に係る事務費（消耗品費・通信運搬費） 200千円 ○農福連携による農業研修・農業体験 ・農福連携に関する専門家のアドバイス（報償費） 360千円 ・農福連携コーディネート支援員（会計年度任用職員） 3,923千円 ・農福連携人材育成に関する費用（委託料） 2,300千円 ○青森さくらげ等の地域資源を活用した、新たな食の魅力創生事業 ・農産物の加工商品開発支援（報償費） 2,640千円 ・屋内ファーム等で生産した農産物の普及PR（委託料） 1,000千円 ・農産加工品や施設園芸農産物等の地域の食資源PR（委託料ほか） 5,351千円 ○りんご「ふじ」の原木等を活用した観光体験プログラムの企画・運営 ・ふじ原木りんご関連商品のプロモーション（委託料） 300千円 ・りんご「ふじ」を活用した観光体験プログラムの運営・インバウンド受入環境整備(委託料)300千円 ・アクアポニックス観光農園体験プログラム運営・インバウンド受入調査(委託料) 400千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①ふじさきチャレンジファーム農産物販売額（+6,000万円） ②農福連携による農業研修・農業体験者数（+1,000人） ③りんご「ふじ」の原木及び施設園芸を活用した観光体験プログラム利用者数（+1,000人） ④ふじ原木りんごプレミアム産品開発数（+9品）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL http://www.town.fujisaki.lg.jp

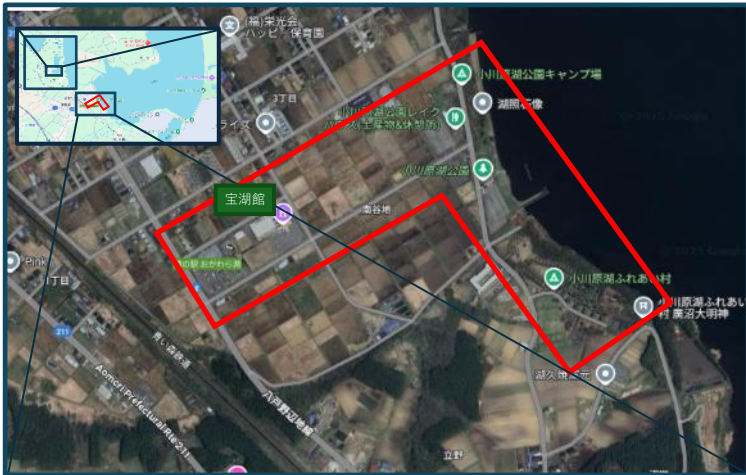
事業概要：ふじさき関係人口共創プロジェクト

継続

申請者	青森県藤崎町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,747千円 (7,249千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域ワークショップを通じて、デジタル記事とプロモーション商品を掛け合わせた新たなプロモーション手法を獲得し、参加者主体で発信する。 ・外部人材の登用し、地域課題に深く関わることで、地域が外部人材を受け入れる土壌が作られ、新たな関係人口を創出するという好循環を生み出す。 ・関係人口と地域住民の関わりにより、関係人口を端緒とする定住人口の獲得と地域活性化の好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の魅力を発掘、発信する、地域人材の育成と、掘り起こした魅力を商品化し、事業終了後も継続的に地域の魅力を発信する土台を作る。 複業人材とともに地域課題に取り組むことで、関係人口を生み、地域の外部人材の受入を許容し歓迎する土壌を作る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ふじさきデジタル共創プログラム事業 地域資源を掘り起こし、デジタル記事として発信することに加え、発掘した魅力を伝えるプロモーション商品を企画・制作するための講座やワークショップを実施 ・ワークショップ等運営費(委託料等) 5,269千円 ○複業クラウド事業 民間の人材をアドバイザー等とし招致するためのプラットフォーム「複業クラウド」を活用し、外部人材を登用して地域課題の解決を図る。 ・複業人材登用に係る運営費(委託料) 1,980千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①15歳から39歳までの転入超過率（+9%） ②町外の事業参加者数（+39人） ③作成したデジタルコンテンツへのアクセス回数（+2,130回） ④移住相談件数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) http://www.town.fujisaki.lg.jp/ (効果検証) http://www.town.fujisaki.lg.jp/

事業概要：小川原湖を核とした持続可能な観光地域づくり事業

継続

申請者	青森県東北町						初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,564千円 (19,762千円)	
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業				
目的・効果	東北町は少子高齢化により人口減少が進み、それに伴い産業も徐々に衰退し、地域の持続性において大きな課題を抱えています。本事業は数少ない町の観光資源である「小川原湖」を最大限に活用することで、地域独自の強みを活かした地域活性化を図り、選ばれる持続的な地域づくりを促進するものです。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町の持続的可能な地域づくりという将来像において、現状、少子高齢化による加速的な人口減少により、産業全体も徐々に衰退してきており、持続性において大きな課題を抱えております。その課題解決のために、町は観光誘客や地域コミュニティの場づくり、消費拡大を目的とした観光地域づくりが必要と考えます。本事業を遂行することで、町内外の人々が集う場や子供たちが遊ぶ場が作られ、癒しを提供するアウトドア空間が生まれ、さらには有事の際の防災拠点として整備されることにより、持続可能な観光創出及び地域づくりに資するものです。 ①施設整備：アウトドア施設（トレーラーハウス等）の設置及びWi-Fi整備、雑木伐採等の環境整備、既存施設の改修、室内遊具の設置 ②暑さ対策：アウトドア施設への空調設備整備 ③防災対策：アウトドア施設を有事の際の避難場所に活用、防災遊具の設置								
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・Wi-Fi環境整備費 3,948千円 ・雑木等伐採 12,598千円 ・室内遊戯購入費 2,856千円								
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1.74億円） ②観光客入込数（+54,930人） ③宿泊施設平均稼働率（+40.6%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定	

申請者	青森県東北町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	68,300千円 (3,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	旧浅葉医院は地域医療を支えてきたが、閉院後は老朽化が進行し、景観の悪化や安全面の懸念が生じていた。また、町中心部の商店街では人口減少や若者流出により空き店舗が増加し、地域のにぎわいが失われつつある。こうした状況を踏まえ、跡地を利活用して住民・来訪者の交流を促す場を整備し、地域商店街の再生と経済活性化を図ることを目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旧浅葉医院解体工事：建物本体および基礎部分の撤去、整地作業をしにぎわい広場整備。オープンスペース、照明。多目的利用可能なイベントスペースを確保及び移動式遊具体験会の開催：子ども向け遊具(巧技台) イベントを実施し、育児相談や移住関連ブース、地域商店街とのコラボによる飲食・物販ブース展開など各種イベントを行い、地域商店街の再生と経済活性化を図ることを目的とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建物解体設計費 3,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口数（+1,050人） ②イベント開催数（+44回） ③東北町SNS閲覧数（+104,000回） ④ふるさと納税額（+2.6億円） ⑤移住・定住者数（+19世帯）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：合宿所設備環境再生・合宿誘致強化事業

新規

申請者	青森県東北町						初回採択回	令和 8 年 1 月募集	
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	72,000千円 (6,000千円)	
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業				
目的・効果	・合宿、交流拠点の機能強化により交流人口を創出し、地域経済の維持、拡大を図る。 ・通年利用と滞在日数の増加を通じて、地場産業への波及効果と持続可能な人の流れが生まれる。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、空調設備導入、照明LED化、受電設備更新、全館Wi-Fi整備などを一体的に実施し、施設環境を抜本的に改善することで、町外・県外合宿の誘致力を高め、利用回復と安定運営を図る。また、環境改善による滞在促進を通じ、将来的にはスポーツ関連来訪の増加や地域内回遊の促進にもつながることが期待されるほか、設備更新により災害時の避難所機能の向上も見込まれ、地域全体の安全性向上にも寄与する事業である。								
	【R8年度事業 経費内訳】 ・実施設計費（委託料） 6,000千円								
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域内消費額（合宿者一人当たり支出×人数）（+145億円） ②町外・県外からの来訪者割合（+500%） ③合宿利用者数（延べ人数）（+19,840人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 8 年7月公表予定	

事業概要：ブルーカーボン×脱炭素＝藻場再生と漁業振興事業

継続

申請者	青森県佐井村						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	57,496千円 （18,403千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・脱炭素先行地域計画に掲げるブルーカーボン事業を展開し、地球温暖化対策と連動した漁業振興を進める。 ・藻場創出で水産業へカーボン・オフセットによる付加価値を創出し、シビックプライドを醸成することで、漁業への関心を引き付け、後継者確保を図る。 ・藻場再生により漁家所得の向上を図るとともに、ブルーカーボンをクレジット化し自主財源の確保に努める。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 海の砂漠化と呼ばれる磯焼け対策として、藻場再生を進め、そこで得られるCO₂の賦存量をクレジット化し、安定的な財源を確保した上で、創出した藻場の維持管理や拡大、漁業振興を行う。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○既存情報による藻場の現状把握等に係る経費 ・現地調査（委託料） 4,247千円 ○定例打合せ（月1回）に係る経費 ・委託料 2,315千円 ○調査結果とりまとめに係る経費 ・専門家ヒアリング（委託料） 146千円 ○報告書作成に係る経費 ・調査結果取りまとめ（委託料） 1,114千円 ○Jブルークレジット申請に係る経費 ・申請支援業務（委託料） 1,863千円 ○委託業務全般に係る間接経費 ・一般管理費等（委託料） 8,718千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ブルーカーボンCO2賦存量（+233t-CO2） ②Jブルークレジット販売料（+12,811千円） ③漁家一戸あたりの漁獲高（+992千円） ④漁師縁組事業定住者数（+3人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.sai.lg.jp

事業概要：旧福浦小中学校リノベーション事業

新規

申請者	青森県佐井村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	110,000千円 (110,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域に住むヒトが誇りを持ち、ヒトとの交流を通じて、地域にある資源を磨き上げ、次世代へと引き継がれていく地域づくりを目指す。 ・ウニの陸上養殖事業を通じて、地域の重要な水産資源のウニのブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・「育てる・学ぶ・楽しむ」を軸に体験型観光メニューを提供するなどし、関係人口の創出に繋げる。 ・環境負荷価値を高め、国内外企業とのビジネスを通じた外貨獲得に向け販路開拓を行い、域内経済循環の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 公募型プロポーザルの結果、採用された事業提案は、校舎をウニの陸上養殖施設として整備し、それを核として、地域の漁業を守り、未来につなぐためのラボ拠点とすることで、「育てる・学ぶ・楽しむ」を軸に体験型観光メニューを提供するなどし、来訪者に“海を育てる”ことの尊さを伝える取組を通じて、域内経済循環と関係人口の創出を図るほか、地域住民や観光客が気軽に集えるカフェを開設するというものであり、本提案事業に関して補助による支援を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・事業提案者に対する補助金：110,000千円（佐井村） （補助対象者：株式会社コメイチ、補助対象経費：利活用事業に関して必要と認められる経費、補助率：10/10、補助上限110,000千円） 〔補助対象経費の内訳〕 ・設計監理に係る経費 10,000千円 ・内装改装に係る経費 20,000千円 ・設備設置に係る経費 38,000千円 ・公式ホームページ制作等に係る経費 2,000千円 ・什器・備品購入に係る経費 45,000千円 ・ブランディングコンサルに係る経費 5,000千円 対象経費計 120,000千円						
主なKPI	①養殖ウニの販売額（+4,789千円） ②養殖ウニの生産高（+1,600kg） ③雇用の創出（+4人） ③村内飲食店等での取扱件数（+8件） ⑤来館者数（+1,375人）					URL	https://www.vill.sai.lg.jp
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：食と健康のまちづくり拠点施設整備事業

旧制度（拠点）

申請者	青森県五戸町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	971,359千円 (51,379千円)
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的・効果	県道20号線沿いに産直、物販、飲食等の機能を持った拠点施設を整備し、農産品販売を通じて生産者と消費者を結び付け、農業所得の向上とやりがいの提供及び後継者の育成。同時に他産業（診療所）と結びつき、食と健康の新たな地域産業を育む。人口減少への対策として観光客や買い物客を誘致し、交流促進を担い、地域経済との連携を強化し、地域活性化と雇用創出を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 食と健康の拠点施設において、直売所を核としつつ、地元農家等や指定管理者及び関係団体と連携し、馬肉・牛肉・鶏肉の「三大肉」を活かしたご当地メニュー提供やイベントを通じた「希少性の高さ」の情報発信、体験型コンテンツの導入等とともに、レジシステムや産直管理システム、IoTふるさと納税自販機等を導入するなど、デジタル技術活用により売上向上を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・効果促進事業（ハード事業） IoTふるさと納税自動販売機導入費用 7,018千円 ・効果促進事業（ソフト事業） レジシステム導入費用及び施設備品購入費用等 44,361千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①町内の主要な産直施設の売上の合計額 (+1億9,642万円) ②拠点施設における年間入込客数 (+19万5,900人) ③管理運営団体との契約者数 (+200人) ④新規就農者の増加 (+12人)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.town.gonohe.aomori.jp

事業概要：スポーツ・交流によるまちづくり拠点施設整備事業

新規

申請者	青森県五戸町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	377,300千円 (377,300千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	私立高校の誘致と連動し、かつて「サッカーの町」として栄えた地域のアイデンティティを再燃させるための多目的スポーツ拠点を整備する。これにより、若年層の町外流出抑制と町外からの通学・移住による「若者の流入」を実現し、人口減少対策とする。また、既存の競技拠点（ひばり野公園）と新拠点を結ぶ人の流れを中心街へ波及させ、宿泊・飲食等の地場産業を活性化させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 廃校跡地を活用し、日常的なスポーツ活動や交流活動に対応した人工芝グラウンドの「育成・活動拠点」を整備する。本施設は誘致する私立学校の活動拠点としても活用し、官学連携による持続可能な運営モデルを構築する。既存施設（競技拠点）との機能分担により、大会開催から日常利用まで幅広いニーズを取り込み、交流人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・人工芝多目的グラウンド新設工事 377,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町サッカー協会が主導する本拠点活用プログラムへの年間延べ参加者数（+600人） ②多目的グラウンドの平日日中における施設稼働率（+75%） ③本拠点の整備に伴う「サッカーを基軸とした移住・居住実態数」（+50人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.gonohe.aomori.jp